

2008 年度

事 業 報 告 書

annual report 2008

学校法人 五島育英会

# 2009年4月1日、都市大グループが誕生しました。

武蔵工業大学  
 武蔵工業大学附属中学校・高等学校  
 東横学園中学校・高等学校  
 武蔵工業大学第二高等学校  
 東横学園小学校  
 東横学園二子幼稚園



東京都市大学  
 東京都市大学附属中学校・高等学校  
 東京都市大学等々力中学校・高等学校  
 東京都市大学塩尻高等学校  
 東京都市大学付属小学校  
 東京都市大学二子幼稚園

\*東横学園女子短期大学は、武蔵工業大学との統合により、その新学部として改組しましたが、在学生が卒業するまでの間、現在の名称のまま存続します。



## 東京都市大学

創立80年の伝統と実績を携えた  
 5学部16学科の総合大学へ  
 科学を基盤に持続可能な社会発展を目指す

2009年4月、学校法人五島育英会が設置する大学1、高等学校3、中学校2、小学校1、幼稚園1の各学校に、「東京都市大学(略称：都市大)」の共通名称を冠して、統一された学校群である「東京都市大学グループ」が誕生しました。

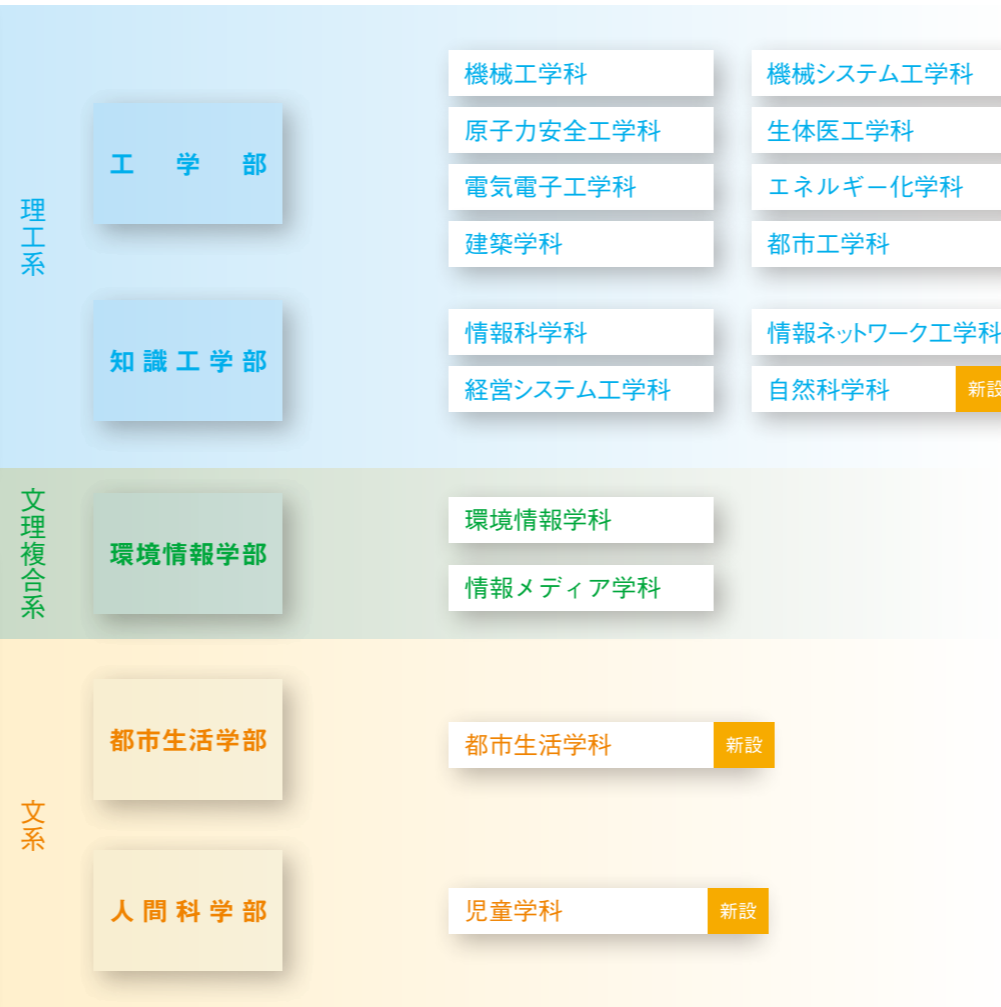
都市大グループの中核となる東京都市大学は、旧武蔵工業大学に東横学園女子短期大学を統合、従来の工学部、知識工学部、環境情報学部に加え、先進性の高い文系学部、都市生活学部と人間科学部を新設しました。5学部16学科を擁する総合大学として、「科学を基盤にサステナブルな社会発展を目指す」ことをキャッチフレーズにさらなる飛躍を目指し、教育・研究活動を展開します。

学校法人 五島育英会

武蔵工業大学

+

東横学園女子短期大学



### 事業報告書 発行にあたって

学校法人五島育英会は、1955(昭和30)年、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長に、「科学技術と文化の発展の一翼を担える人材育成」を標榜して発足した学校法人です。現在までに大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、専修学校、自動車学校の全11校を設置する法人へと発展しています。

2009(平成21)年4月1日からは、大学から幼稚園までを「東京都市大学」の名のもとに校名変更・統一、「都市大グループ」として、学校間の連携を強め、グループ全体の総合力を生かしながら、さらなる発展を目指しています。時代の激変期において、つねに変革を恐れず、積極的に進化を目指すことができるのも、ひとえに保護者や卒業生の皆様をはじめとして、当法人とつながりのあるすべてのの方々のご指導・ご支援の賜と感謝申し上げます。

当法人では、今後とも持続可能で豊かな社会の発展に貢献すべく、未来志向の有意な人材の育成に最大限の力を注いでまいります。そのことをご理解いただくためにも、当法人に関わりのあるすべてのステークホルダーの皆様、私たちの理念、取り組み、各学校の現況などをご紹介することが重要であると考え、「事業報告書」を発行しております。本報告書をご一読いただき、学校法人五島育英会と設置する全ての学校についてご理解いただき、信頼を深めていただけたら幸いです。

### 2008年度事業報告書 学校法人五島育英会

発行日：2009年7月  
 発行者：学校法人五島育英会  
 〒150-0043  
 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番7号  
 五島育英会ビル8F  
<http://www.goto-ikuei.ac.jp/>

本報告書の対象範囲：  
 学校法人五島育英会の大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、専修学校、自動車学校

本報告書の対象期間：  
 2008年4月1日～2009年3月31日  
 (一部、上記期間以前または以後の状況についても記載しています)

無断転載を禁止します。  
 All Rights Reserved.  
 Printed in Japan © Goto Ikueikai Education Foundation 2009

お問い合わせは  
 学校法人五島育英会  
 〒150-0043  
 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番7号  
 五島育英会ビル8F  
 TEL 03-3464-6911(代表)  
 FAX 03-3464-6650

### 東京都市大学グループのシンボルマーク・ロゴタイプについて

東京都市大学グループの誕生に伴い、共通したシンボルマークとロゴタイプを定め、統一したイメージを構築しました。シンボルマーク…略称「都市大」の「都市」の「T」を図案化したものです。サステナブルな明るい未来を見通す「窓」でもあり、そうした社会を実現するための「知恵のフキダシ」の象形でもあります。マークの色調(アイデンティティカラー「TCUブルー」)は、知性とサステナブルな明るい未来を意味しています。ロゴタイプ…シンプルでカーブの効いたゴシックのタイプフェイスは、時代に柔軟で、若々しさのある学校であることを表現しています。

### 東京都市大学グループの学園歌「夢に翼を」が完成しました

2009年4月の東京都市大学グループの誕生に伴い、グループ全体共通の学園歌「夢に翼を」が完成しました。2009年3月30日に、Bunkamuraオーチャードホールで開催した「東京都市大学グループ誕生記念コンサート」で披露しました。五島育英会ホームページ上で聴くことができます。

### 目次

- 02 都市大グループ誕生/発行にあたって
- 04 理事長メッセージ
- 06 ハイライト  
教育・研究、環境対策、地域貢献、施設・設備、スポーツ、組織改革、記念コンサート
- 14 設置校の概要  
東京都市大学、東横学園女子短期大学、東京都市大学附属中学校・高等学校、東京都市大学等々力中学校・高等学校、東京都市大学塩尻高等学校、東京都市大学付属小学校、東京都市大学二子幼稚園、東急自動車学校、東急自動車整備専門学校
- 22 2008年度のトピックス
- 23 各種奨学制度
- 24 財務ハイライト
- 26 財務の概要  
消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、財産目録、6年間の財政状態の推移
- 32 2009年度の事業計画
- 33 五島育英会の概要  
五島育英会のあゆみ、組織体制、役員一覧

## 今こそ問われる都市大グループの真価

～魅力溢れる“都市大ブランド”の構築に向けて～



学校法人五島育英会理事長 山口裕啓

### 都市大グループの誕生にあたって

2008（平成20）年度事業報告書の発行にあたり、学校法人五島育英会を代表してご挨拶申し上げます。

2009（平成21）年4月1日、当法人が設置する武蔵工業大学に東横学園女子短期大学を統合し、新たにその名称を「東京都市大学（略称：都市大）」に変更いたしました。これにより世田谷、横浜、等々力の3キャンパスを擁し、既存の工学部、知識工学部、環境情報学部、新たに都市生活学部と人間科学部の文系2学部を加えた5学部16学科の総合大学となりました。同時に、付属の3高等学校、2中学校、1小学校、1幼稚園の冠名称を東京都市大学に統一し、「東京都市大学グループ」が誕生いたしました。

都市大グループ発足を目前に控えた2009年3月30日には、セルリアンタワー東急ホテルにて「東京都市大学グループ誕生記念式典」を開催、その後Bunkamura オーチャードホールに会場を移し、東京フィルハーモニー交響楽団を招いての誕生記念コンサートを実施いたしました。ご出席いただいた皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

幼稚園から大学までを包含する総合学園化は、五島慶太初代理事長が当初より提唱していたもので、当法人創立50余年の時を経て実を結びました。今後は、“国際的視

野と情報活用能力を身に付け、健全な精神と豊かな教養をもって、国際社会で活躍する有為な人材育成のため、幼児教育から高等教育まで、魅力ある教育システムを常に新たな視点で構築し、良質の教育を行う。”という当法人の教育目標を実践すべく、各学校の力を融合しグループの総合力を発揮して、教育・研究の向上、施設・設備の充実により、学生・生徒、教職員、関係者の皆様すべての期待に応える理想の学園づくりを取り組んでまいります。

### 2008（平成20）年度の取り組みについて

統合・名称変更を控えた武蔵工業大学では、工学部に「原子力安全工学科」を増設し、既存の「環境エネルギー工学科」を「エネルギー化学科」に名称変更するなど、時代と社会のニーズを勘案しながら学科の再編成を断行しました。また、世田谷キャンパスの全面的なリニューアルの一環として、2008年4月、新2号館を起工。2009年度より開設される都市生活学部と人間科学部の拠点となる等々力キャンパス（旧東横学園女子短期大学キャンパス）でも、「卒業研究スタジオ」や「スタジオ・シアター」など、先進的な施設・設備の構築を粛々と進めてまいりました。

さらに、都市大への名称変更、グループ誕生について、様々なメディアを通じて積極的な広報活動を展開いたしま

した。創立80年の歴史と伝統を持つ武蔵工業大学が、より広範な学問領域を備える東京都市大学へと発展的に進化することなどが、学内外に広く認知されたものと思われま

### 2009（平成21）年度の計画について

東京都市大学においては、建設中の新2号館が、6月に竣工を迎える予定です。今後、総合的なプランに基づいて、順次校舎の建替などを実施し、教育・研究環境の改良を図っていく所存です。また、知識工学部に新たな学科「自然科学科」を設立、応用情報工学科を「経営システム工学科」に名称変更するなど、引き続き学部・学科の再編に取り組んでいるところです。

また、より緊密で手厚い学生・生徒とコミュニケーション、サポート体制を実現するため、事務職にCS（顧客満足）のメソッドを導入し、学生が安心して快適な学生生活などを送ることができるよう、接遇改善などを含めた活動に取り組むことといたしました。大学各キャンパスにおいてこの活動を展開し、その効果を検証しながらグループ全体へ拡大してまいります。教育機関には馴染みの薄いCSですが、学生・生徒の満足という観点を改革へと生かすことで、都市大グループのオリジナリティあふれる特色とし、さ

らに質の高いサポート体制を構築してまいります。

「都市」で学ぶ。「人」を育てる。「未来」を築く。  
信頼される、都市大ブランドの確立へ

都市大グループ誕生という当法人創設以来最大の改革を成し得た今こそ、新しい出発点、転換点と言えるでしょう。

「都市」は、多様な人の集まりのなかで、未来に向かって文化・芸術・産業を発信していく夢と可能性に満ちた学びの空間です。その「都市」を学校名に掲げた都市大グループは、常に新しい視点と発想、行動力をもって、すぐれた人材を未来に向けて育成してまいります。併せて、この“未来志向”という価値観をグループ全体で共有しながら、信頼される都市大グループのブランド確立を目指します。

改革は端緒についたばかりで、これからが本当の真価が問われる時。当法人は、各学校がこれまで培ってきた伝統と教育実績を生かしながら、全体の連携を一層強め、より質の高い教育とサービスを創出するために教職員一丸となって最大限努力してまいります。

本事業報告書をご一読いただきまして、当法人の現状と、今後の展望に対するご理解をいただくとともに、さらなる発展を目指す各学校へのご支持、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



# 東京都市大学 文理複合型の教育・研究プロジェクトを推進

## 2009年4月に文系2学部が新設

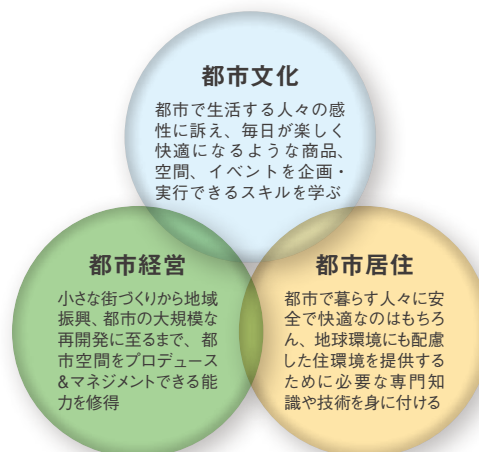
「都市生活学部」「人間科学部」は4年間、等々力キャンパスで学びます。  
文系学部の誕生で、学びの可能性と選択肢が広がりました。  
東京都市大学誕生と同時に開設された新学部の特徴を解説します。

### 都市生活学部 都市生活学科

人々の生活を豊かにするプロフェッショナルを育成

都市生活学部都市生活学科（定員150名）は、生活者の視点をもって都市にかかわる空間や商品・サービスをマネジメントできる人材を育成します。都市生活学部の特徴は、建築や設計といったハード面、技術面からではなく、文化や芸術、経済、産業などのソフト面から都市の持続的な成長を考察する点にあります。

少人数クラス制の指導のもと、経営学、商学、社会学の知識とコンピューターやデザインのスキルを修得。「都市文化」「都市経営」「都市居住」の3つの科目群を用意し、テーマパークのエキスパートやお台場開発のプランナーといった街づくりの第一線で活躍する教員陣を揃えました。都市開発プロデューサー、商品開発クリエイター、住環境のデザイナーなど様々なフィールドで活躍できる人材の創出を目指します。



### 都市生活学部の3つの専門領域

3つの専門領域科目群を配置し、都市生活で求められる空間、商品・サービスを企画、マネジメントできる力を養います

### 人間科学部 児童学科

「理論」と「体験」の両方を通じて、「子ども」を学ぶ

人間科学部児童学科（定員100名）は、資格や免許の修得だけで終わらない“保育力”を育むカリキュラムを用意しています。子育て支援センター「びっぴ」や「スタジオ・シアター」など学習環境も整備しています。

核家族化が進み、地域間の連携が見えにくくなった現代社会では、保護者の多くが子育ての悩みを抱えながらもサポートが得られにくい環境にあります。子どものこころを理解するとともに、保護者の状況や気持ちを正確に把握し、問題解決に真摯に取り組む人材が求められています。

人間科学部児童学科では、幼稚園教諭1種免許や保育士資格取得のサポートはもちろん、基礎となる理論を学び、独自の体験プログラムを修得することで、専門力と実践力を持つ質の高い保育・教育者を育成します。



等々力キャンパス周辺にある「農業体験用畑」で土づくりから収穫、調理までの食農体験ができます

## 学生の興味・関心に応える幅広い学術分野

5学部16学科、文理複合型の総合大学として生まれ変わった東京都市大学。  
社会のニーズに応える最先端の教育・研究プロジェクトに注目します。

### 工学部

#### 原子力人材育成プログラムに 原子力安全工学科の3つのプログラムが採択

工学部原子力安全工学科は、2008年度文部科学省・経済産業省「原子力人材育成プログラム」で3つのプログラムが採択されました。3件同時の採択は私学では本学のみとなります。また、2007年度の同事業でも2件のプログラムが採択されています。

原子力安全工学科は、原子力研究所（1960年開設、1989年運用休止、2003年廃炉決定）で培ってきた教育・研究の経験と実績を生かし、2008年度に新設しました。今回の採択結果は、本学の原子力人材育成機関としての実力の高さを示しています。

東京都市大学(旧武蔵工業大学)の  
2008年度文部科学省・経済産業省採択事業  
「原子力人材育成プログラム」採択テーマ



- 原子力コア人材育成プログラム  
実践的原子力技術者養成のための教育体系の整備
- 原子力教育支援プログラム  
原子力安全工学科の新設にかかる教育体系プログラム整備
- チャレンジ原子力体感プログラム  
原子炉運転実習、原子力産業施設見学、日本原子力学会への学生派遣

### 知識工学部

#### 2009年4月に「自然科学科」を新設、 「応用情報工学科」を「経営システム工学科」に名称変更

知識工学部は、2009年4月に自然科学科を新設、応用情報工学科を経営システム工学科と名称変更しました。

自然科学科は、科学と社会の架け橋となる理系職業人の育成を目指します。自然科学の広い視野と表現能力の基礎を培い、国内外のフィールドワークなどを通じて、自ら問題発見、解決できる力を身に付けます。

経営システム工学科は、名称変更により学科のコンセプトをダイレクトにアピールします。総合的なマネジメント力を備える技術者育成を目指し、実践力を徹底して鍛える点が特徴です。



国内外各地での調査や最先端の分析機器を活用した解析で実践力を身に付けます

### 環境情報学部

#### 国際的な視野を養う海外研修プログラム 横浜国際フェスタで活動報告

環境情報学部は「環境」と「情報」の領域を融合したフレキシブルなカリキュラムを用意しています。学びの場も世界に広がっており、「オーストラリア熱帯雨林復元フィールド教育プログラム」「日中共同砂漠緑化フィールド研修プログラム」など海外の研修プログラムが豊富です。そのひとつである「ネパールプロジェクト」では発展途上国の環境問題や社会問題を学びます。2008年10月25、26の両日、「横浜国際フェスタ2008」にネパールプロジェクトの取り組みを出展しました。2009年2月26日から3月9日にかけてネパールでの海外研修を実施。環境情報学部の学生20名が参加しました。



ネパールのナショナル大学の学生と東京都市大学の学生が協力して現地調査に臨みました



# 文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に採択強みを生かし、他大学との連携プロジェクトを推進

## 外部教育研究資金の採択

「科学を基盤に持続可能な社会発展を目指す」をキーワードに、これまで培ってきた東京都市大学の知的財産を、様々な形で地域や社会に還元しています。

その一例が、先端的な研究活動です。文部科学省の科学研究費補助金の交付を受けて進めている研究は42件。他大学などの研究分担17件。政府が選定する競争的研究、研究助成9件。公の機関が選定し助成する先端的研究を全学部・学科で展開しています。

2008年度は文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に本学の以下の2つの研究プログラムが採択されました。

■生活密着型次世代燃料電池の技術開発と解析手法の確立によるシステムの最適化  
研究代表者

工学部エネルギー化学科 教授 永井 正幸



■生体インターフェース用ナノカーボン/量子デバイス複合型バイオチップの開発  
研究代表者

工学部生体医工学科 教授 田口 亮



## 室蘭工業大学との連携

2008年度の文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に、東京都市大学と室蘭工業大学の連携プロジェクト「遠隔に立地する大学の教育・研究活動の連携—水素エネルギー研究協力を契機にして—」が採択されました。採択期間は3年間で、毎年約1億円が補助金として交付されます。

東京都市大学と室蘭工業大学は2007年に包括連携協定を締結しています。今回の採択で、連携プロジェクトが、より具体的に展開しています。多岐にわたる取り組みを実効性のあるものとするため、両大学は教育研究、大学運営、地域連携の3部会を設置し、それぞれの事業案を策定。2008年10月15日に第1回の連携推進委員

会を開催し、事業実施案やスケジュールの確認などを進め、本格的な活動に入りました。2008年度は、水素エネルギーに関する教育教材や、プログラムを共同開発。2009年度は、水素タウン構想を掲げている北海道室蘭市内で、東京都市大学が開発した「水素燃料エンジン搭載バス」の走行試験を実施し、様々なデータを収集するなど、今後も室蘭工業大学の協力のもと、さらなる研究開発に取り組む予定です。

## 早稲田大学との連携

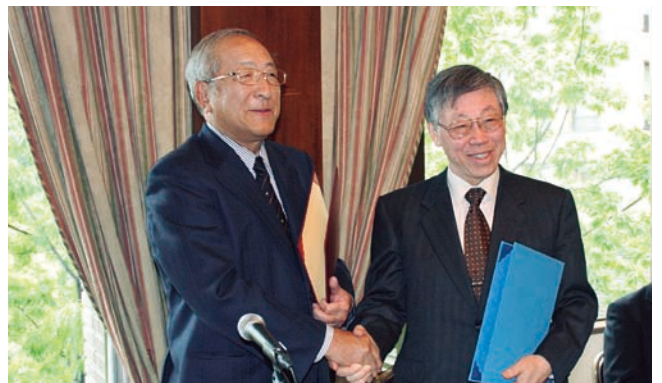
2009年4月27日、原子力や新たなエネルギー利用にかかわる技術・開発に従事する人材育成を目的に、東京都市大学と早稲田大学が「大学間交流に関する包括協定書」を締結しました。

両大学間で検討を進めている具体的な取り組みとして、原子力分野に関する共同教育課程「共同原子力専攻」の2010年4月の開設を目指すとともに、未来エネルギー大学院フォーラムを設立します。

2009年度は専攻の開設に先駆け、未来エネルギー大学院フォーラム設立記念シンポジウムを開催し、エネルギー産業活性化の重要性を訴えるとともに、共同原子力専攻を広くアピールしていきます。



水素燃料エンジン搭載バスの公道走行を実現。2009年4月3日に、プレス発表会&試乗会を開催しました



包括協定記者発表での東京都市大学 中村英夫学長と早稲田大学 白井克彦総長 (右)

### 大学間連携プロジェクト

- ・国立大学と私立大学の初の包括連携として室蘭工業大学と包括連携協定を締結 (2007年)
- ・室蘭工業大学との連携による「遠隔に立地する大学の教育・研究の連携—水素エネルギー研究協力を契機にして—」が文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に選定 (2008年)
- ・昭和大学と包括連携協定を締結 (2008年)
- ・多摩美術大学と包括連携協定を締結 (2008年)
- ・早稲田大学と「大学間交流に関する包括協定書」を締結 (2009年)

### 産官学交流センター「地域交流・イベント」活動例 (2008年度)

- ・特許セミナー「テーマ：君たちは発明家だ！」の開催
- ・マイテック産学技術交流会 (第12回～第14回)の開催
- ・テクノトランスファーinかわさき2008 (かながわサイエンスパーク)への出展
- ・イノベーション・ジャパン2008 (東京国際フォーラム)への出展
- ・CEATEC JAPAN2008 (幕張メッセ)への出展
- ・せたがや未来博 (世田谷区役所)への出展
- ・産学交流サロン (横浜メディアビジネスセンター)への出展

# 東京都市大学 環境情報学部 「神奈川県・横浜市・川崎市 三首長地球温暖化防止表彰」を受賞

東京都市大学（旧武蔵工業大学）環境情報学部は、2008年10月23日、神奈川県、横浜市、川崎市三首長から、「地球温暖化防止表彰」を受賞しました。

2008年度から設けられた本表彰は、地球温暖化防止を目指し、地域での環境配慮型ライフスタイルの実践や社会貢献活動に取り組む住民・事業者の功績を称え、表彰するものです。

東京都市大学の受賞理由は、横浜市内の小学生が家庭の省エ

ネ行動に取り組む「子ども省エネ大作戦」に2004年度から協力していること、学生による小中学校への出前講座、チェックリストの集計作業のボランティア活動が挙げられます。そのほか、学園祭（第12回MI-TECH横浜祭）で、日本の大学で初めてカーボンオフセットに取り組み、学園祭で発生した二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量分を植林で補うため、北海道美幌町での植林事業を支援したことが評価されました。



表彰式に出席した環境情報学部の増井学部長（前列左から2人目）



受賞トロフィーと表彰状



写真左：学生主体で取り組んでいる小中学校への出前講座も高い評価を受けています  
写真右：2008年5月31日、6月1日に開催した「MI-TECH横浜祭」で、カーボンオフセット特設テントを設置しました。皆様からの寄付金により北海道美幌町内にカラマツ662本を植栽できました。この森は、美幌町によって今後20年間管理されます



## 環境への取り組みを小冊子にまとめています



環境報告書2007-2008年号 学生たちが作った環境マニュアル

## 東京都市大学 横浜キャンパス 人と自然の共生を実現した21世紀型エコ・キャンパス

横浜キャンパスは、ソーラーシステムや水蓄熱式ヒートポンプエアコンなど、自然環境を生かせる工夫を施しています。エネルギー使用量の削減やゴミの減量・分別の仕組みを整え、日々の教育・研究活動が円滑に進められるように配慮しています。キャンパス内にある保全林を生かした省エネルギーに関する研究活動にも積極的で、横浜キャンパスそのものが環境に関する教材と言えるでしょう。

1998年10月、日本の大学として初めて「国際環境規格ISO14001認証」を取得しました。その後も環境改善活動が高く評価され、2003年の第12回「地球環境大賞優秀環境大学賞」（フジサンケイグループ日本工業新聞社主催）受賞、2009年3月には、「ISO14001 10年継続賞」を受賞しています。



写真上：緑に囲まれた横浜キャンパス  
写真左：地域交流イベントの筍掘り



## 東京都市大学の知を社会に還元 子育て支援に高い評価、市民講座や科学体験教室を開催

### 子育て支援センター「びっぴ」

「びっぴ」は乳幼児（就学前の児童）とその保護者のための子育て支援施設です。広々としたスペースにオリジナルの遊具を揃え、安心して過ごせる場所を提供しています。教育拠点としての役目も担っており、在学生は「びっぴ」で研修を重ね、子育て支援を学んでいます。「びっぴ」を活用した教育プログラムは、2005年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に選定されています。

2004年6月1日の開所以来、利用者は延べ11万人を超えています。2008年10月25日に、来場11万人記念イベント「親子で楽しむ音楽会」を開催しました。



「びっぴ」には1日平均113名の親子が訪れます。子どもたちはすべり台やおもちゃで楽しく遊んでいます

### 小学生・中学生のための科学体験教室

2008年8月9日、科学体験教室を世田谷キャンパスで開催しました。実験や工作、観察などを通して科学の不思議やおもしろさを学習できるイベントです。第7回を迎えた今回の来場者数は約1650名でした。当日は水ロケットやロボットを作ったり、シャボン玉を浮かばせたりと、参加者は科学の不思議、ものづくりの楽しさを体験していました。来場者アンケートでは、「お兄さん、お姉さんが親切」と、学生の対応も好評を得ています。



落ちずに宙に浮かび続けるシャボン玉を見て、子どもたちもビックリ！

### 渋谷コロキウム（公開講演と対談）

渋谷コロキウムは、「都市大」が東急グループの各企業と連携を図りながら、現代社会における問題や話題をテーマにした講演会（対話）です。2008年度は4回開催され、毎回100名近くの参加者を集めています。

2008年度の開催状況

第14回2008年4月14日「こころとからだの健康管理」

第15回2008年6月9日「地震と建築」

第16回2008年9月29日「物流と環境」

第17回2008年11月11日「暮らしを変えるオートメーション」



「コロキウム」とは、ラテン語の「談話・会談」に由来します。講演会だけでなく参加者との対話を行いたいという趣旨が込められています

### 環境情報学部市民講座

市民講座は10周年となる2008年度、2009年6月の横浜開港150周年を記念して、「横浜の過去を開き、未来を開く」をテーマに掲げました。10月～12月にかけて計8回の市民講座を開講、横浜開港資料館や都筑民家園を会場にした講座も用意しました。11月9日の特別講座「環境タウンミーティング」では、横浜市の中田宏市長の基調講演が開催され、約150名の参加者が集まりました。



基調講演で、脱温暖化について語る横浜市の中田宏市長



## 東京都市大学付属小学校 新校舎が竣工

東京都市大学付属小学校の新校舎が2009年3月に竣工し、2009年4月6日に新校舎竣工式を行いました。

新校舎は、児童たちの「確かな学力と豊かな心の育成」を目指し、地域環境や安全にも配慮した設計コンセプトに基づき建設されました。既存の教室棟や体育館を解体し、新たなゾーニングにより設計されています。同時期に3階建てに改修された既存の特別教室棟と合わせて、現在の敷地内に地下1階、地上3階、延床面積

5,978㎡の新しい校舎が誕生しました。

セキュリティー面では、学校の玄関にICカード読み取り機を設置し、「PASMO」をかざすと登下校時に保護者の携帯電話にメールが送信されるサービスを導入しています。

今後も教育内容の充実・施設設備環境の整備に継続して取り組み、児童たちの自主性、主体性を育み、明るく楽しい学校づくりを目指します。



2009年4月6日、新校舎竣工式が厳かに執り行われました



図書・情報センター。総合的な学習施設を整備しました



自然光があふれる第2アリーナ



正面玄関にはICカード読み取り機が設置されました



新校舎竣工式の当日は、春らしい青空の広がる晴天に恵まれました



回廊式の広い廊下は、突き当たりや暗い場所をなくし、教員の目が届きやすくなっています

### 東京都市大学 等々力キャンパスにスタジオ・シアターが誕生

東京都市大学人間科学部児童学科(等々力キャンパス)の施設として「スタジオ・シアター」が完成しました。本格的な児童演劇、人形劇、ストーリーテリング、ダンス、パフォーマンスなどの公演ができる音響設備や照明器具を完備しています。様々なワークショップ、シンポジウム、セミナーなども対応可能な多目的スタジオです。2008年11月2日のオープンキャンパスでは、体験授業(演劇鑑賞)として、NPO(特定非営利活動)法人アートインAshibinaによる「ねこはしる」を上演しました。



## 東京都市大学塩尻高等学校 全国高校サッカー選手権大会初戦突破

東京都市大学塩尻高等学校(旧武蔵工業大学第二高等学校)のサッカー部が第87回全国高校サッカー選手権大会に出場しました。

2008年11月2日、全国大会出場がかかった長野県大会決勝戦では、延長戦の末、強豪・松商学園高等学校に2-0で勝利し、念願の初優勝を飾りました。

2008年12月31日、全国大会の初戦は柏の葉公園総合競技場で開催、対戦相手は高知県代表の高知高等学校でした。緊迫した展開で試合は進み、1-1で前半を終了、PK戦に突入。そして塩尻高等学校は9-8でPK戦を制し、見事初戦を突破しました。

2回戦は2009年1月2日に行われ、会場は市原臨海競技場、群馬県代表の前橋育英高等学校と対戦しました。健闘したものの、0-3で敗退となりました。

地元からは生徒、教職員、保護者、卒業生など約500名の応援団が結成されました。都市大グループ各校からも大勢の学生、生徒、教職員などが駆けつけ、スタンドに一大応援団が出現、熱狂的な応援が繰り返されました。



ゴールを目指し、息詰まる競い合いが繰り返されました



夢の舞台、全国大会の開会式に入場するイレブン



応援にも熱が入ります

## 東京都市大学 CS向上委員会を発足

東京都市大学では、CS(顧客満足)活動の取り組みを始めました。大学職員にとっての顧客とは、学生であり、個々の学生の成長を通じて社会に貢献することが私たちの使命だという考えのもと、より質の高いサービスを目指します。

2008年4月、CS活動の定着を図るため、等々力キャンパス職員を中心にプロジェクトチームを結成。意識改革、基準づくり、スキルアップを目標に1年間にわたり週1回のペースでミーティングを開催しました。

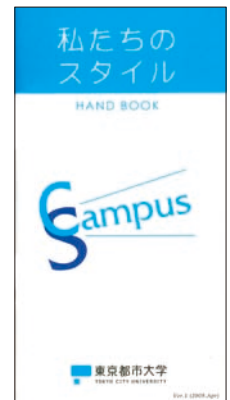
同年8月21日~22日、五島育英会八ヶ岳山荘で、新学部開設準備室と東横学園女子短期大学職員を中心としたメンバーが「CS向上職員合宿研修」を行いました。CS改革に対するモチベーションアップや現状課題の認識と意識の共有化を図り、「CSキャンパス実現」に向けたチーム作りを実現しました。

1年間の活動の総仕上げとして、CS報告会を2009年3月に開催し、山口裕啓五島育英会理事長をはじめとする関係者が参加しました。

2009年4月は、世田谷キャンパスにCSを推進する部門を新たに設置し、全体的な取り組みとしてのCS活動を推進。さらに質の高い学生サポート体制を整備します。人への思いやりや感謝、感激を備えた「素晴らしいキャンパス」と評価されることを目指し、「私たちのスタイル」と題したハンドブックを職員に配布するなど様々な取り組みを展開していきます。

**C=comfort(快適、満足等)+community(集団、共同体、共有等)+communication(コミュニケーション、意思疎通等)**

**S=satisfaction(満足、達成等)**



等々力キャンパス3号館1Fを、学生の目線を意識して改修。事務局の配置を変更し、カウンターロビーや学生ラウンジが広く過ごしやすいスペースへと変わりました

職員に配布されたハンドブック



## 都市大グループ誕生を祝い 記念式典、記念コンサートを開催

東京都市大学グループの誕生を記念し、2009年3月30日、「東京都市大学グループ誕生記念式典」を開催しました。会場となったセルリアンタワー東急ホテル（東京・渋谷）には、グループ各学校関係者約160名が出席しました。関係者挨拶の後、校旗授与式が行われ、山口裕啓五島育英会理事長がグループ各校の学長、校長、園長と各学校を代表する学生・生徒に新しい校旗を授与しました。

続けて、同日、Bunkamuraオーチャードホール（東京・渋谷）にて、「東京都市大学グループ誕生記念コンサート」を開催しました。

プログラムは、ショスタコヴィッチ祝典序曲、ベートーヴェン交響曲第9番「合唱つき」などの楽曲を公演しました。併せて、このコン

サートで、グループの誕生にあたり製作した学園歌「夢に翼を（作詞・作曲 岩代浩一、編曲 岩代太郎）」を披露しました。

プタペスト国際指揮者コンクールで優勝経験を持ち、国際的に活躍する本名徹次が指揮をとり、二期会合唱団の歌声、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で、都市大グループの門出を華やかに祝いました。東京都市大学の学生7名もトランペットとホルンで演奏に加わりました。

当日は、グループ各学校の関係者のほか、300組600名の一般のお客様を無料でご招待しました。コンサートに訪れた方々からは素晴らしい歌声と演奏に大変ご好評をいただきました。



約1700名の聴衆を楽しませた記念コンサート

(写真：三浦興一)



山口裕啓五島育英会理事長から新しい校旗を受け取る中村英夫東京都市大学学長（左）



東京都市大学の学生が参加し、ショスタコヴィッチの演目で、練習の成果を披露しました

### 東京都市大学グループ学園歌

#### 夢に翼を

作詞・作曲 岩代浩一  
編曲 岩代太郎

1.  
まなびや  
学園の道の 陽を浴びて  
精気さやかな 都市に起つ  
未来を目ざす 心意気  
不滅の精神を学ぶなり  
香る個性の煌きに  
明日の英知を磨き合う  
両手に燃える青春の  
夢に翼を 夢に翼を

2.  
まなびや  
学園の大地に 風わたり  
天空蒼々と 湧えるとき  
阿吽の息吹 朋友の声  
讃歌たからかに ひびくなり  
若き生命の羽ばたきに  
明日の希望を語り合う  
力あふれる青春の  
夢に翼を 夢に翼を

3.  
まなびや つど  
学園の森に 集い来て  
こずえ き こだち  
梢するどく 指す木立  
遙かに仰ぐ 大宙の  
北斗に真理の光あり  
古き伝統の温もりを  
明日に生かして励み合う  
血潮みなぎる青春の  
夢に翼を 夢に翼を



## 80年の伝統を礎に、キラリと光る個性的な大学に



都市大グループの誕生、大学名の改称、学部学科の新設といった一連の改革が遂行され、総合大学としての東京都市大学が誕生しました。約80年の歴史のなかで培ってきた実学を重視した教育や先端的な研究活動の実績を生かし、東京都市大学としての強みを見極め、さらなる発展を目指します。



中村 英夫 学長

■教職員数 710名 ■学生数 7002名(大学6432名、大学院570名)

■開設年 1929(昭和4)年

■所在地

世田谷キャンパス 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 TEL. 03-5707-0104

横浜キャンパス 〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 TEL. 045-910-0104

等々力キャンパス 〒158-8586 東京都世田谷区等々力 8-9-18 TEL. 03-5760-0104

\*教職員数、学生数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 都市大グループ誕生と狙い

2009年4月、武蔵工業大学および東横学園それぞれの学校群を統合し、新たに「東京都市大学グループ」が誕生しました。グループ誕生に伴い、「武蔵工業大学」は名称を「東京都市大学」に変更、「都市生活学部」「人間科学部」の2学部を新設し、理工系、文理複合系、文系で構成される総合大学へと生まれ変わりました。

統合の目的は、学校法人五鳥育英会が設置する幼稚園や小学校、中学校、高等学校、大学、大学院など9校の運営の一本化にあります。グループの総力を結集し、各校の特徴を生かしながら連携を進めていきます。グループ連携体制の一環として、都市大グループの高等学校に在籍する生徒は、2009年4月入学者から原則として、東京都市大学に進学できる制度を整えました。

### 単科大学から文理複合型総合大学へ

2009年4月に、都市生活学部と人間科学部の2つの学部を新設しました。

都市生活学部都市生活学科は、日本で初めて“都市”をテーマにした社会科学系学部です。従来のエンジニアではなく、都市にかかわる「空間」「商品・サービス」をマネジメントできる人材を育成します。東急沿線地域は教育水準も高く、成熟した都市の要素を兼ね備えています。この地域で学ぶ利点を生かし、「都市文化」「都市経営」「都市居住」の3つの視点から都市づくりにアプローチします。

人間科学部児童学科は、旧東横学園女子

短期大学の保育学科を昇格。学内にある子育て支援センター「びっぴ」の活動など、実践的なカリキュラムは文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択され、高い評価を得ています。子どもたちの自発性や好奇心を喚起し、相手を思いやる気持ちを育む、高い専門性を持った保育者を育成します。

また、知識工学部に新たに自然科学科を開設。科学と社会の架け橋となる理系職業人の育成を目指し、「分子科学コース」「生命科学コース」「地球科学コース」の3つのコースを用意しています。さらに、知識工学部の応用情報工学科を経営システム工学科に名称変更しました。

新たな分野の学部が誕生し、東京都市大学は幅広い領域を網羅する5学部16学科の総合大学と進化しました。

### 志願者数が大幅増

新学部の案内パンフレットや新聞などを活用した広報活動の効果もあり、「東京都市大学」は大きな注目を集めました。

総志願者の増加数は全国の大学のなかでも際立っており、昨年より3119名増えました(25.5%増)。

新学部志願者数は、都市生活学部が定員150名に対し675名、人間科学部が定員100名に対し257名となりました。一方、既設3学部の志願者数に関しては工学部が前年比8.2%増、知識工学部では前年比33.2%増、環境情報学部は前年比42%増という結果です。

少子化により18歳人口の減少にもかかわらず

らず、東京都市大学として初年度入試がこのような結果を残せたことに対して、関係者一同は喜びを感じています。

### 大学の質を生かした研究を推進

東京都市大学では、「科学を基盤にサステナブル(持続可能)な社会発展を目指す」をキャッチコピーに掲げています。本学が重点におくのは、工業技術、環境、エネルギー、福祉といった分野です。

工学部原子力安全工学科では、文部科学省・経済産業省の2008年度「原子力人材育成プログラム」に3つのプログラムが採択されました。原子力安全工学科は、旧武蔵工業大学が1960年に開設した原子力研究所(1989年運用休止)で培った技術や研究を生かし、2008年に新設しました。

そのほか、文部科学省の2008年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、工学部エネルギー化学科、工学部生体医工学科の2つの研究プログラムが採択されるなど、様々な実績を挙げています。

### 大学間連携でさらに広がり

2008年度の文部科学省「戦略的連携支援事業」に、室蘭工業大学との連携プログラム「遠隔に立地する大学の教育・研究活動の連携-水素エネルギー研究協力を契機にして-」が採択されました。

室蘭工業大学とは2007年に包括連携協定を結んでいます。今回の採択で連携をより強化し、共通の教育プログラムの作成や学生、教職員の交流をはじめ、共同の選抜試験

■ホームページ <http://www.tcu.ac.jp/>



の実施や就職支援、サテライトオフィスの設置など様々な取り組みを実施します。

本学の専門分野をより強化するには、他の教育・研究機関とも連携をとり、学際的な研究を促進する必要があります。2008年3月に昭和大学、多摩美術大学との包括連携協定を締結。医学の教育に実績を持つ昭和大学とは2007年に開設した工学部生体医工学科との間で一歩踏み込んだ連携が期待されます。多摩美術大学とは本学が開発した水素燃料エンジン搭載バスの外装デザインを担当するなど、幅広い交流が実現しています。

2009年4月、早稲田大学と「大学間交流に関する包括協定書」を締結しました。原子力分野に関する共同教育課程「共同原子力専攻」の2010年4月の設置を目指すとともに、未来エネルギーに関する大学院フォーラムを設立します。

### 国際社会で活躍できる学生の育成

2008年度は学ぶ環境の整備にも着手しました。高校時に数学、物理、化学、生物などの科目が未履修だった学生に対し、リメディアル教育を実施しています。

大学の果たすべき役割とは、自信を持って国際社会で活躍できる学生を育てることです。グローバル社会に必要な英語力の強化にも注力します。2009年度に外国語共通センターの設立と全国統一外国語基礎教育

■2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	学部学科再編(2008年度)	・2008年4月、工学部環境エネルギー工学科をエネルギー化学科に改称 ・工学部に原子力安全工学科を増設
	「都市大グループ」設置準備(2009年4月誕生)	・2009年4月、武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合し、東京都市大学に改称決定 ・等々力キャンパスに都市生活学部都市生活学科、人間科学部児童学科の設置を決定 ・知識工学部に自然科学科の開設を決定 ・知識工学部応用情報工学科を経営システム工学科に改称決定 ・大学院工学研究科に電気電子工学・生体医工学・情報工学専攻の設置を決定
	学生支援	・五鳥育英基金を大学院生、学部生の52名に給付 ・海外研修資金の貸与制度を創設し、海外での学会・研修などに参加するための費用捻出が困難な学生を支援 ・学生支援カードシステム構築に向け準備を開始 ・リメディアル教育を導入
	教職員の質向上	・優れた教育及び研究に対する顕彰制度を導入 ・組織的教育改善の検討を目的とする「教育改善研究会」を開催、体制を準備
研究活動	採択事業	・文部科学省・経済産業省の「原子力人材育成プログラム」に工学部原子力安全工学科の3つのプログラムが採択 ・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、工学部エネルギー化学科、工学部生体医工学科の2つのプログラムが採択 ・文部科学省「戦略的連携支援事業」に、東京都市大学と室蘭工業大学の連携プログラムが採択
	講演会・シンポジウム	・電子情報通信学会東京支部学生講演会を開催 ・原子力安全工学科開設記念シンポジウム開催 ・原子力安全工学科エネルギーシンポジウム開催 ・マイテック産学技術交流会を開催 ・環境情報学部がエコプロダクツ2008に出展
社会貢献	地域交流	・小学生・中学生のための科学体験教室を開催 ・中高生によるバッテリーカーコンテストを開催 ・武蔵工大YC国際交流チャリティコンサートを開催
	公開講座・市民講座	・渋谷コロケム(公開公演と対話)を年4回開催 ・環境情報学部市民講座・10周年記念講座を年8回開催
大学連携	医工連携	・昭和大学と工学部生体医工学科の実習で連携を準備
	交流協定	・早稲田大学と「大学間交流に関する包括協定書」の締結準備(共同教育課程「共同原子力専攻」を2010年4月開設予定)
高大連携	推薦入学制度の見直し	・2012年度から、付属の高等学校3校を対象に、東京都市大学への「希望者原則全入制度」を導入決定
	公開授業	・模擬授業、出前講座、見学会を実施
広報活動	説明会	・オープンキャンパスを6月、8月、11月の年3回開催。進学説明会を全国各地で開催
第三者評価	大学基準協会大学評価	・大学基準協会の点検評価報告書を提出(認定された場合、その期間は2010年4月から2017年3月までの予定)
施設・設備	2号館竣工	・鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造。地下1階地上4階建、延床面積4,840㎡。事業費、1,976百万円(事業期間2008年5月から2009年6月)

カリキュラムの策定を予定しています。

資金面のサポートも欠かせません。国際学会などへの積極的な参加を後押しするために資金貸与制度を設けました。

本校が目指すのは、国内外においてブランド力を発揮できるような「小さくても特徴あ

るキラリと光る存在感のある大学」です。そのためにも、エネルギーや環境をはじめ、情報や都市、福祉といった本学の持つ資質と社会的なニーズのマッチした分野を中心に、今後も戦略的な教育体制の拡充を図っていきます。

## 東横学園女子短期大学

TOYOKO GAKUEN WOMEN'S COLLEGE

■代表者名 海老原 大樹 学長

■教職員数 16名

■学生数 88名

■開設年 1956(昭和31)年

\*教職員数、学生数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

■所在地

〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18

TEL. 03-3702-0111

■URL <http://www.toyoko.ac/>

### 発展的統合へ

2009年の武蔵工業大学との統合による4年制の総合大学化に伴い、2008年度から学生募集を停止しました。在学生の卒業まで、東横学園女子短期大学として活動します。

2008年度(2009年3月卒)の就職率は、ライフデザイン学科が77.8%、保育学科が98.0%でした。就職ガイダンスや自己PRのトレーニングを実施し、学生の就職を支援しています。

### 約55年の歴史の集大成として

最終年度(2008年度)にあたるライフデザイン学科では、2名が卒業延期となり、2009年9月の卒業を目指しています。

3年制の保育学科は2009年度が最終年度となります。保育士資格や幼稚園免許の取得、2010年3月の卒業に向けて希望する就職、進学が実現できるよう取り組んでいきます。

両学科合同で応募した「第10回ブラインドカラーコーディネートコンテスト(立川ブラインド工業主催)」において、名だたる美術系大学などを押さえ「学校賞」を受賞しました。統合後もさらに高いレベルのカリキュラムを提供します。

約55年の歴史の集大成として『東横学園女子短期大学のあゆみ(仮称)』の作成、記念式の実施を計画しています。



# 東京都市大学 附属中学校・高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

(旧武蔵工業大学附属中学校・高等学校)

## 中高一貫教育体制を推進、生徒の未来創造をサポート



私たちが目指しているのは、中学校で身に付けるべき学力、将来やりたいことを実現できる大学に進むための力を養い、人間としての資質を伸ばす精神を育むことです。そのためにも、生徒の将来を切り開く能力、自己解決能力、自己開発能力を磨くように心がけています。中高一貫教育の良さ、利点を最大化する取り組みが徐々に形になってきたと自負しています。



五十嵐 勲 校長

- 教職員数 129名
- 生徒数 1484名 (中学校740名、高等学校744名)
- 開設年 中学校1956(昭和31)年、高等学校1951(昭和26)年
- 所在地 〒157-8560 東京都世田谷区成城1-13-1  
TEL. 03-3415-0104

\*教職員数、生徒数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 中高一貫教育プログラムを推進

2008年度は中学・高校完全一貫校に向けた新体制を導入して2年目にあたります。中高一貫教育に沿った授業カリキュラムの策定も順調に進んでおり、前期(中学1・2年生)と中期(中学3年生、高校1年生)のプログラムはほぼ完成しました。

2009年度から実施した中学3年生の習熟度クラスの編成に向け、体制を整えました。現在は高校のみ習熟度別のクラス編成ですが、6年間を通して生徒一人ひとりが目標を実現できる仕組み作り、シラバスの完成を目指します。

特に本校の強みである理数教育に関しては、これまで以上にしっかり勉強できる環境を確立します。

教員のさらなる指導力の向上は欠かせません。学校内外での研修に加え、民間研修にも全員が参加しています。また、年2回の授業アンケートを有効に活用し、集計結果の分析や教科別の研修会を開催しました。評価の高い教員の授業を公開するなど、教職員同士で刺激しあい、教育力のアップを図っています。

### 難関大学進学を目指す男子校

2008年度の大学進学実績は、これまで以上の結果を残すことができました。

系列校の東京都市大学への進学者は100名で、国公立大学には22名が進学しています。また、早慶上智(早稲田、慶應義塾、上智)に加え、明青立法中(明治、青山学院、立教、法政、中央)クラスの大学にも多くの生

徒が進学しました。近年の傾向として、文系学部への進学が全体の約35%に伸びています。

2007年に新校舎が完成以降、高い水準を持つ中学受験者層も安定し、男子進学校として教育関係者からも高い評価を得ています。

### ブランド力を持った学校づくり

2010年度入試から高校の募集を行わない“完全6カ年一貫教育”が実現します。6年間を通して超難関大学にもチャレンジできる学力をしっかりと身に付けてほしいと考えています。

また、学力だけでなく、生活態度や倫理観の教育を通じて子どもから大人への成長をサポートしていきます。新キャリア教育、東京発見ウォークはその一環です。職業研修先の拡充を考えて、同窓会への協力を要請しました。具体的な計画は検討中ですが、活躍する卒業生の姿は生徒たちへのキャリア意識の向上に役立つと期待しています。

都市大グループのひとつとして、系列校との連携を図りつつ、社会的に高い評価を得る、ブランド力を持った学校づくりを引き続き目指していきます。



充実した科学実験の授業を通じて、理科への興味と理解を深めていきます

■ ホームページ <http://www.tcu-jsh.ed.jp/>



### 2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	中高一貫新体制	・前期・中期のプログラムを完成 ・2009年度導入の「中期前半」(中3対象)の習熟度別クラスの基準を設定
	カリキュラム	・中学校の道徳(地球市民科)の時間を7校時に設定
	授業アンケート	・7月、12月の2回実施。結果分析会や強化別研修会を開催
広報	中学説明会	・6月にオープンスクール、10月、11月、1月に学校説明会を3回実施
	高校説明会	・10月、11月に学校説明会を実施
	その他	・学校ホームページのリニューアル。DVD、パンフレットの充実

# 東京都市大学 等々力中学校・高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY TODOROKI JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

(旧東横学園中学校・高等学校)

## 学力革命や指導力向上に成果、さらなる飛躍を目指す



本校は「英語の東横」という伝統を残しつつ「中高一貫進学校」への飛躍を目指しています。そのためにも難関大学への合格を可能にする学力革命、思いやりや優しさに加え品性を尊ぶ心の教育は欠かせません。英語教育はもちろん、ほかの科目に対しても力を入れ、バランスのよい学力向上を目指します。校名変更という大きな転機を生かし、さらなる改革に教職員一丸となって臨みます。



海老原 大樹 校長

- 教職員数 66名
- 生徒数 385名 (中学校195名、高等学校190名)
- 開設年 中学校1947 (昭和22)年、高等学校1948 (昭和23)年
- 所在地 〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1  
TEL. 03-5962-0104

\*教職員数、生徒数は、2009 (平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 資格や検定への受験が向上

2008年度は、5年目を迎えた学力革命の集大成と位置づけられました。

学力の伸長を目指し、「百マス計算」「論理エンジン」の導入や、生徒の学習意欲の向上を図った結果、漢字検定や英語検定など検定試験に挑戦する生徒が増え、総体的に達成できたと言えるでしょう。高校の英検準1級取得は12%となっており、今後の課題として取り組んでいきます。

2008年度の進学実績は、系列校の東京都市大学に4名、その他4年制大学に37名が進学しました。また、短期大学には17名が進学しています。今春、英語留学コースの第一期生8名が卒業を迎え、上智大学外国語学部や日本獣医生命科学大学獣医学部など難関校への進学を果たし、一定の成果を挙げています。

今後はセンター試験受験をはじめ、生徒の大学受験に対する姿勢をより積極的なものにしていきたいと考えています。明青立法中 (明治、青山学院、立教、法政、中央) クラスの大学への進学実績を伸ばすため、教科プログラムの充実に取り組んでいます。

### グループ誕生による好影響

都市大グループ誕生および校名変更の影響は大きく、資料請求数は約30%上昇するなど、大きな注目を集めました。前年に比べて志願者数は中学で152名増、高校で34名増となりました。受験者数の伸びは中学で40名増、高校で31名増であり、こ

した競争率の上昇は受験水準の全体の向上にもつながり、良い結果を導いています。

2009年度以降の入学者は原則として希望者全員が東京都市大学への進学が可能になることで、生徒もより一層自己研鑽に取り組みやすい環境が整いました。

授業アンケートを見ると、総体的に好感触を得ています。学期ごとに振り分ける英数の習熟度別授業や教職員の連携による毎日の宿題や課題の出し方の工夫など、今後も様々な取り組みを実践していきます。

さらなる充実を目指し、進学予備校の教育研修の活用や進学実績の高い東京都市大学付属中学校・高等学校との連携などを積極的に進め、教職員の指導力向上を多方面からサポートする方針です。

### 2010年度から「共学部」を新設

2010年度から「共学部」を新設し、都市大との高大連携を強力に推進していきます。70年に及ぶ女子教育の伝統は「女子部」として受け継ぎながら、中高一貫教育の進学校として転進していきます。“ノブレス・

オブリージュ”を理念に高い理想の人格教育を確かな学習支援プログラムのもとに展開するため、校舎も新築し、この理念にふさわしい教育環境を整備します。



2つのパソコンルームとマルチメディアルームで自由に学習できます

■ホームページ <http://www.tcu-todoroki.ed.jp/>



### 2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	学力向上	・国語「論理エンジン」、英語「グローバルイングリッシュ」などの継続指導 ・高等学校 (英語留学コース) で1週間の英語合宿を実施 ・キャリアビジョンプログラムの実施
	HR指導の充実	・中1、中2の担任2人制を導入
	授業アンケート	・7月、12月の2回実施。教科内研究授業を学期ごとに実施
広報	説明会	・学校説明会、学校見学会を実施 ・通学圏内にある人口急増地域を重点的に広報
施設・設備	キャンパス整備	・耐震補強、内装工事。事業費、185百万円



# 東京都市大学 塩尻高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY SHIOJIRI HIGH SCHOOL

(旧武蔵工業大学第二高等学校)

## 自己実現できる高校として、地元から高い評価



本校の目標は「自らが成長し、自己実現できたことを自覚できる学校」です。時流に即した生徒一人ひとりのニーズに対応するために、大学進学や資格・技術習得はもちろん、学科再編やカリキュラム改訂などの改革・活性化に余念がありません。東京都市大学への推薦をはじめ、女子生徒の受け入れや課外活動の強化にも対応した施設設備の充実を推進します。



河西 靖男 校長

- 教職員数 75名
- 生徒数 601名
- 開設年 1956(昭和31)年
- 所在地 〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出2081  
TEL. 0263-88-0104

\*教職員数、生徒数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 地元信頼される学校に

2008年度は、都市大グループ誕生を目前にした準備期間として、様々な取り組みを進めてきました。

そのひとつが学校名の変更です。「塩尻」という地名を校名に採用し、「地元へ愛され地元へ根付き地元から信頼される」学校としての将来像を示しました。もうひとつが付属校であるメリットのPRです。2009年度以降の入学者から、東京都市大学(都市大)への「希望者原則全入制度」を導入しました。都市大に文系の学部が誕生したこともあり、本校に対する女子生徒の評価が上がりました。2008年度女子の推薦入学者は60名、2009年度は72名と大きな成果を生んでいます。

入試制度としては、3年目を迎えたBrilliant(特別奨学生)入学試験が認知されてきたことも実感しています。この特別入試は、英数国3教科の試験結果を基に可否を判定します。初年度志願者25名に対し、2009年度は224名へと急伸びました。

こうした取り組みが功を奏し、2009年度の志願者は、前年度と比べて総合工学科が46名増、自動車科8名増、普通科176名増という結果になりました。

### グループ校と連携し指導力を向上

都市大グループとしてのメリットを生かし、進学サポートの充実を図ります。グループ校の中でも進学実績の高い東京都市大学付属高等学校と教職員の交流を行いました。

本校は都市大の推薦合格を手にした上で国立大にチャレンジすることも可能です。受験サポートとしてセンター試験対策や地元国立大学の大学院生による特別補講を実施。このほか、特別講座の再編成や塾講師による授業などを用意しています。2009年度は5月の大型連休をはじめ、夏休みや春休みなどの長期休暇に効果的に導入する予定です。

### 将来をサポートする体制を充実

2008年度卒業者のうち大学、短大進学者は、都市大の10名を含め48名でした。専門学校進学者は35名、就職は56名です。就職希望者の内定率は100%を達成しました。自動車科と総合工学科を対象にした「産業社会と人間」科目でキャリア教育を導入し、自ら進路を見つける機会を設けています。インターンシップ制度「デュアルシステム」では、総合工学科の希望者を対象に地元のものづくり企業で長期にわたる就業体験を実施しています。

2009年度の目標は、新しい組織作りへの移行期間として、進学・就職サポートのさらなる充実度アップを軸に進めます。本校の特徴であるクラブ活動もより一層の発展を目指します。



コミュニティホールを合宿や研修、放課後の学習に活用しています

■ホームページ <http://www.tcu-shiojiri.ed.jp/>



### 2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	学力向上	・特別講座の強化と総合学習での進学補修の取り組み ・高校入学時に5教科実力テストを実施
	就業教育	・2007年文部科学省採択事業「ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業」としてインターンシップや企業研修を実施
	高大連携	・1、2年生を対象に9月に知識工学科、11月に都市生活学部、人間科学部の模擬講義を実施。3月に東京都市大学を中心に外部の講師による21の出張講座を開講
広報	教職員研修	・授業アンケートを2回、授業公開週間を2回実施。産業教育センターなど技術研修を実施
	説明会	・学校説明会を実施。塩尻市内、松本市周辺の中学校6校で進路講話を開催 ・中学3年生や保護者を対象にした体験学習を8月、11月、12月の3回実施
施設・設備	その他	・女子推薦、スポーツ推薦等の推薦入試やBrilliant入試のリーフレットを作成
	キャンパス整備	・耐震補強、内装工事。事業費、120百万円

# 東京都市大学 附属小学校

TOKYO CITY UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

(旧東横学園小学校)

## 未来へつながる高い学力と豊かな心を育む



本校では、中学受験レベルの学力向上に加え、自主的主体的に考え行動できる子どもへの成長を目指しています。教材の研究に熱心な先生が多く、公式や様式を教えるだけでなく、将来にまで続く“気づき”を導く教育が基本です。「高い学力の定着」と「豊かな心の育成」を学校目標の柱に、児童の自主性を育み明るく楽しい学校づくりに務めます。



沖田 侃 校長

- 教職員数 34名
- 生徒数 474名
- 開設年 1956(昭和31)年
- 所在地 〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1  
TEL. 03-3417-0104

\*教職員数、生徒数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 学力向上のための取り組み

本校の教育方針は「高い学力と豊かな人間教育」です。単に知識を詰めこむだけでなく、子どもたちが行動的に考え、自主的に学びたいような教育カリキュラムを用意しています。

学習指導および生活指導など、教職員の指導力アップのための研究活動に取り組みました。課題を明確化するために、学力や進学実績など数値化できる項目を増やすなど具体的な施策を進めています。

学習指導については、国・社・算・理(1～2年生は国・算)の学力向上目標として、学年末に実施する学力検査の結果に着目。2008年度は児童の30%以上に評定5を、45%以上に評定4という目標を立て、これを達成しました。

特に効果的だったのは、5～6年生の算数で採用した習熟度別学習と6年生の国語のグループ別受験指導です。読解力は学力の基本でもあり、中学受験対策としても重要です。2009年度はさらに充実した指導を目指します。

### 指導力を磨く教職員

学力向上に欠かせないのは、「児童の自主的な学習意欲を引き出すこと」です。そのため、適切な教材と高い指導力を持った教員が必要となります。

教職員による研究活動は2年目を迎えました。「高い学力を育むための効果的な指導方法」をテーマに掲げ、教科ごとの研究授業を通じて課題を共有し、質の高い指導レベルを

目指しました。

児童への接し方、指導内容を深める教材作りなど、多角的な取り組みを実施しています。仕組みや成り立ちに興味を持たせる授業の進め方や生徒への質問方法などを日々考察しています。これらの詳しい取り組み内容などは、冊子『まなび』などを通じて、保護者に紹介しています。

本校の受験サポートも充実しており、4年生で週2回、5～6年生で週3回の補習授業を実施しています。卒業生の多くは私立中学へ進学します。2009年度の東京都市大学附属中学校への進学者は14名、東京都市大学等々力中学校の進学者は7名でした。

そのほか、私立難関中学校への合格者が大幅に増え、本校生徒の高い学力向上が定着してきました。

### グループ連携でパイプに厚みを

都市大グループの誕生により、グループ校との強力な連帯が築かれました。今後は、各校の良いところを吸収し合う教育改革を展開します。

2009年4月に新校舎が竣工し、生徒たちは新しい校舎で学んでいます。ICカード(PASMO)を利用した登下校通知メールサービスを導入するなど、保護者との連携強化にも努めてまいります。



英語学習ではネイティブの講師による授業が好評です

■ホームページ <http://www.tcu-elementary.ed.jp/>



### 2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	学習指導	・6年生を対象に習熟度別グループで国語の授業を実施 ・算数オリジナル問題集を作成
	研究授業の活性化	・算数、国語、社会、総合、音楽の5教科研究授業と協議会を実施 ・校内研究会を5回、校外の研修を4回実施 ・研究紀要『まなび』を発行
	初任者研修	・研究授業、校内外の研修を含め57時間を達成
広報	学校説明会	・学校説明会、公開授業、個人別進学相談会を開催
施設・設備	新校舎建築	・鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造。地下1階地上3階建、延床面積5,978㎡。事業費、1,860百万円(事業期間2007年7月から2009年3月)



# 東京都市大学 二子幼稚園

TOKYO CITY UNIVERSITY FUTAKO KINDERGARTEN

(旧東横学園二子幼稚園)

## 日々の遊びから、幼児の興味・関心を導く



私たちは園児一人ひとりを丁寧に育てていくことを大事にしています。園児の生活の中心は、遊ぶこと。遊びを通じて、様々なことに興味や関心を持たせ、子どもが本来持っている資質を伸ばしていきます。保護者の方々との信頼関係も重要です。毎日送り迎えの際に、保育士から毎日の成長の様子などを伝えています。



波田野 久美子 園長

- 教職員数 12名
- 園児数 216名
- 開設年 1955(昭和30)年
- 所在地 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-17-10  
TEL. 03-3708-0104

\*教職員数、園児数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 環境をキーワードに接し方を工夫

2008年度は「環境」をキーワードにした幼児教育に取り組みました。

子どもたちにとっての環境とは、教室やプランターの花、先生など身の周りのものすべてです。毎日の生活や折々の行事を通じて、動植物などの自然に触れられるように配慮しました。

毎年の行事である夏野菜の栽培やおたまじゃくし探し、芋掘り、川原での虫取り、泥遊びなどに加え、教室内での季節感漂う演出や動線の整理など身近な環境を整えました。栽培する野菜や観察する花、飼育する鳥や虫の種類も増やしています。

園内研修を学期ごとに2回実施し、日々の申し送りを通じて全教職員の意識向上を図り、言葉の選び方や伝え方を工夫しました。

学外の研究会やセミナーにも積極的に受講し、2008年度は21の研修・講座に述べ26名の教員が参加しています。

結果として「環境」を意識した保育が、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、自ら学び考える力を身に付ける教育につながったと自負しています。

### 数多くの体験を子どもたちに

子どもは体験から学びます。見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れるなど五感を意識させることで新しい何かを発見し、自分の世界を広げるきっかけを作っていきます。絵の具を使ったフィンガーペインティングや専門の先生による水泳指導はそのひ

とつです。

2009年度は新たに「親子関係」や「食育」という領域などにも取り組みます。当園では、送り迎えや週に2度のお弁当づくりを保護者の方々にお願いしており、幼稚園と各家庭がつながる環境作りはできていると考えています。

2009年度も週ごと、月ごとの環境設定を作りながら、幼児期にしっかりと体験しておくべきことを洗い出し、そのための環境づくりに取り組みます。

### 都市大グループ誕生を生かす

2009年に、都市大グループが誕生しました。東京都市大学との連携のひとつとして、小・中学生向けの科学体験教室を園児向けにアレンジしたものを実施しようと検討しています。幼児教育の段階から科学と触れ合う機会を取り入れようという試みです。このほか各校との連携も視野

に入れ活動を行っていきます。

2008年度の東京都市大学附属小学校への進学者は12名でした。

また、公開保育・説明会を開催し、多くの方々に参加いただきました。2008年10月に催した移動動物村では、28組の未就園児の親子を招待しました。今後もこうした取り組みを実施し、保護者や地域から信頼される幼稚園として存在感を高めてまいります。

■ホームページ <http://www.tcu-futako.ed.jp/>



### ■ 2008年度の事業実績

区分	事業	内容
教育活動	環境を中心に取り組む	・小鳥の世話、野菜や花の栽培、虫の飼育などに取り組む。園庭・園外保育で季節の変化に触れられるよう配慮
	行事	・移動動物村を10月に開催 ・両面踊り、神輿囃子、長唄の音楽会を開催(父母の会主催) ・お天気キャスター・気象予報士の森田正光氏による講演会(父母の会主催)
	教員研修	・計21の研修会、セミナー、講座に述べ26人が参加
広報	公開保育・説明会	・公開保育・説明会を3回実施
	私立幼稚園フェスタ2008に出展	・個別相談や本園の紹介DVDを放送(富士チャイルドアカデミー主催)

# 東急自動車学校

TOKYU DRIVING SCHOOL

## 唐木田への移転に向け、教職員一丸となって対応



本校は40年以上の間、親切で丁寧な真心教習に取り組んできました。都内最大のコース面積という充実した施設・設備を生かし、2輪教習に高い実績を持ち、2007年度に新しくなった大型免許教習にも迅速に対応しています。2009年12月の多摩市への移転に向けて、教職員全員が一丸となって取り組んでいきます。



白石 明 校長

- 教職員数 109名
- 開設年 1955(昭和30)年
- 所在地 〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-28-1  
TEL. 03-3700-9551

\*教職員数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 職員のレベル向上

本校は、2輪教習の高い実績と都内でも数少ない2輪専用コース、大型2種免許の教習といった特徴を生かして「サービスの絶対差」実現を目指しています。

2008年度は、大型免許教習の充実や免許を必要とする企業へのPRなどをはじめ、送迎バスの事故防止対策などに取り組みました。そのほか、地域の交通安全教育センターとしての役割を果たすために、警察署など関係機関との連携を強化し、「交通安全の集い」や「二輪車教室」といった交通安全イベントを実施しています。

職員の質向上を心がけた結果、東京指定自動車教習所協会が主催する「受付対応コンテスト」で優勝という成績を残すことができました。

2008年度の教習生は約8400名、卒業生は

約6900名でした。

### 唐木田への移転準備

二子玉川駅周辺の都市計画事業(世田谷区)を受け、2009年12月に東京都多摩市唐木田への移転が決定しました。2009年4月から新校舎および新コースの建設工事が始まっています。円滑に移転できるよう教職員全員が一丸となって、教習生への対応や移転後の運営についての具体的な準備を進めます。

現在のところ募集の一時停止時期は未定ですが、教習生の卒業(技能講習の修了)を徹底してサポートしていきます。

### 地域に愛されるドライビングスクールへ

唐木田への移転を契機に、名称を「東急ドライビングスクール」として営業します。敷地面

積は3万5476㎡、新校舎は延床面積約4842㎡で地上3階、地下1階となります。機能的で学習しやすい環境づくりとともに、託児室やカフェラウンジを配置するなど安心して心地よく過ごせるスペースを提供します。

移転後は、高齢者講習にも注力するなど、地域の方に信頼していただける学校づくりを目指します。

■ホームページ <http://www.109n.jp/>



# 東急自動車整備専門学校

TOKYU AUTOMOBILE TECHNICAL SCHOOL

- 代表者名 小西 敏隆 校長
  - 教職員数 7名
  - 学生数 26名
  - 開設年 1972(昭和47)年
  - 所在地 〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-28-1  
TEL. 03-3700-3228
  - URL <http://www.tokyuseibi.jp/>
- \*教職員数、学生数は、2009(平成21)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 26名の学生の卒業を全力でサポート

本校は、1972年の開設以来、3000名を超える自動車整備士を輩出し、社会に貢献してきました。

しかし、二子玉川駅周辺の都市計画事業の影響により、2009年度以降の学生募集を停止することとなりました。

現在は26名の学生(2年生)が在学しており、その卒業をもって休校になります。

### 自動車整備士国家試験に全員合格

2008年度は中途退学者数の改善、マナー教育の充実などに重点的に取り組みました。学生全員との面談を実施し、保護者との連携をとりつつ指導した結果、中途退学者数を抑制できました。マナー教育については、外部講師を招いてのビジネスマナー研修や2003年から続けている年3回の清掃活動など、滞りなく実践しました。

自動車整備士国家試験の2007年度の合格率は89.1%でした。この結果を受けて、2008年度は能力別の4クラスを編成しました。きめ細かい指導で試験対策を充実させ、全員合格を実現、就職希望者の就職率100%を達成しました。

2009年度は、在学学生全員が希望する就職ができるよう技術力やマナー向上、コミュニケーション能力の醸成を図ります。



■ 東京都市大学 (旧武蔵工業大学)



キャンパスイルミネーション 2008

□ 2008年5月31日～6月3日開催

工学部建築学科の学生が中心となり、世田谷キャンパスを光で装飾するイベント。様々なコンセプトの基に考えられた13種類の「ミチ」が、夜の大学を鮮やかに演出しました。

■ 東京都市大学附属中学校・高等学校

(旧武蔵工業大学附属中学校・高等学校)



ユニバーサルデザインを本気で考える

□ 2008年9月17日校外学習、11月2～3日柏苑祭

高等学校1年生は、校外学習において、各企業の施設を見学し「ユニバーサルデザイン」の基本を学びました。さらに11月の柏苑祭では、高校生らしい感性や視点を生かし、「ユニバーサルデザイン」を取り入れた製品アイデアの研究、発表に取り組みました。

■ 東京都市大学二子幼稚園 (旧東横学園二子幼稚園)

移動動物村がやってきた

□ 2008年10月10日実施

情操教育の一環として「移動動物村」を開催しました。園児たちはアヒルやヤギ、モルモットにえさを与えたり、抱っこしたりと、動物との触れ合いを体感しました。

■ 東京都市大学 (旧武蔵工業大学)



国際交流チャリティーコンサート 2008

□ 2008年12月3日開催

12月を彩る恒例行事。1998年、金融危機で就学困難になった留学生を救おうと日本人学生、教職員が中心となり企画されました。近年は世界の子どもたちと環境保護への支援活動などを目的に開催されています。先輩から始まった「仲間を助きたい」という気持ちは、「地球規模への支援活動」に発展し、今も後輩に受け継がれています。

2009年5月1日現在、中国、韓国、台湾、ベトナムなどアジアを中心に149名の留学生が学んでいます。

■ 東京都市大学等々力中学校・高等学校

(旧東横学園中学校・高等学校)



オーストラリア英語留学

□ 2008年2月～9月留学実施

長期留学コースの高等学校3年生は、オーストラリアでホームステイをしながら8か月間、留学生活を送りました。語学力だけではなく、異国での生活で得た自信や積極性など、生徒たちの成長ぶりに周りが驚きました。生徒たちが世界を舞台に活躍する日が、今からとても楽しみです。



CAMPUS PHOTO 東京都市大学横浜キャンパスの藤棚

東京都市大学横浜キャンパス3号館 EAST 前に、東京都市大学二子幼稚園 (当時：東横学園二子幼稚園) から移植された藤棚があります。

この藤は、約25年前に二子幼稚園に植えられ、毎年美しい花を咲かせていましたが、二子玉川地区の再開発のため、2005年の移転をきっかけに、横浜キャンパスへ移植しました。

藤の花が満開になる5月には、キャンパスを歩きかう多くの人の目を楽しませてくれます。



## 各種奨学制度

学校法人五島育英会では、当法人における各種奨学制度と、ご父母保証人、卒業生、企業などの皆様のご理解とご協力による各種寄付を活用し、学生・生徒の学びと成長を支援しています。

### 奨学金制度

#### 五島育英基金

学校法人五島育英会の有為な人材の育成および教育研究の振興に資するために贈られた寄付金などにより1957年に設定。学生・生徒の奨学、学生・生徒などの顕彰、部活動の奨励などの給費事業を行う。  
□ 2008年度実績：119件、約2,907万円

#### 五島育英会曾祢奨学基金

故・理事長曾祢益氏の遺志に基づき遺族から贈られた寄付金と法人・個人からの寄付金により1981年に設定。学校法人五島育英会の学事振興に寄与することを目的に、専任職員の海外派遣や学術文化の国際交流などの事業を行う。  
□ 2008年度実績：1件、約247万円

#### 武蔵育励基金

武蔵工業大学育励会から贈られた寄付金をもって1973年に設定した基金。学生用図書購入のために大学に給費され、教育の成果向上に寄与する。  
□ 2008年度実績：236冊、約89万円

#### 山田奨学基金

1978年3月31日、武蔵工業大学学長を勇退された山田良之助先生から、大学の奨学の一助にとのご芳志のもとに贈られた寄付金をもって設定した基金。同大学を卒業する学生のうち、学業・人物ともに優秀な人物に対して、表彰状と記念品を授与する。  
□ 2008年度実績：11名、約11万円

#### 蔵田奨学基金

武蔵工業大学教授、故・蔵田周忠先生の偉業を後輩諸氏に伝える目的で、卒業生有志から贈られた寄付金により1980年に設定した奨学金。工学部建築学科を卒業する者のうち、特に卒業設計の優秀な者または意匠計画に関し将来を期待される者に対し、表彰状と記念品を授与する。  
□ 2008年度実績：1名、4万円

#### 今泉奨学基金

1992年3月31日をもって武蔵工業大学を定年により退職された今泉益正先生から、大学院学生の奨学の一助にとのご芳志のもとに贈られた寄付金をもって設定した奨学基金。大学院工学研究科に在籍する学生のうち学業・人物ともに優秀な人物に対して授与する。  
□ 2008年度実績：6名、180万円

#### 東京都市大学黒澤敦・淑子奨学金

武蔵工業大学で教鞭を執られた故・黒澤敦助教・淑子ご夫妻の遺志に基づき、遺族からの寄付金により2002年に設定。授業料負担者(父または母)が病気や災害などで学業の継続が困難と思われる学生に授業料の全額または一部を給費する。  
□ 2008年度実績：1名、122万円

#### 東京都市大学佐野利秋国際交流奨学金

武蔵工業大学工学部土木工学科の卒業生、故・佐野利秋氏の遺志に基づき、遺族から贈られた寄付金で設定された奨学金。大学院工学研究科都市基盤工学専攻に在籍する学業・人物ともに優秀なアジア地域からの私費外国人留学生に奨学金を給費する。  
□ 2008年度実績：4名、238万円

#### 東横学園女子短期大学奨学基金

東横学園女子短期大学の元学長、英修道先生から贈られた寄付金による奨学基金を原資に、同大学創立40周年記念に寄せられた寄付金を加え2000年に設定。経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の一部を給費する。  
□ 2008年度実績：14名、210万円

#### 峰奨学基金

東横学園高等学校の教諭、故・峰敏郎先生の遺志に基づき、遺族から贈られた寄付金をもって1970年に設定した基金。学業・人物ともに優秀な学生に対して、表彰状と記念品を授与、高等学校の奨学の成果向上に寄与する。  
□ 2008年度実績：1名、約1万円

#### 小島奨学基金

東横学園小学校校長、故・小島忠治先生の遺志に基づき、同先生の遺族から贈られた寄付金をもって1974年に設定したものであり、図書の購入と教育用備品の購入費として学校に給費され、小学校の教育の成果向上に寄与する。  
□ 2008年度実績：12冊、約2.4万円

#### 本多奨学基金

1987年6月30日をもって東急自動車整備専門学校並びに東急自動車学校校長を勇退された本多武雄先生から、同学校の奨学の一助にとのご芳志のもとに贈られた寄付金をもって1988年に設定したものであり、図書の購入費として学校に給費される。  
□ 2008年度実績：該当なし

### その他の支援について

#### 小学校から大学院までの「金融危機に対する在学生への緊急支援」並びに「急激な円高に伴う私費外国人留学生への緊急支援」について

2008年4月、世界的金融危機に伴う国内外の経済悪化に起因する失職などの家計の急変により、学費納入が困難になった学生・生徒・児童に対し授業料を免除する緊急支援を行なうことを決定した。併せて、急激な円高の影響で学業の継続に困っている私費外国人留学生に対しても、一時的な修学補助と授業料減免の経済的支援を行う。

支援対象は、設置する学校のうち大学院・大学・高等学校・中学校・小学校に在籍する学生・生徒・児童および私費外国人留学生。

「金融危機に対する緊急支援」は、最長一年間の授業料を全額免除とする。

「私費外国人留学生への緊急支援」は、一時的な修学補助および授業料減免を行う。

#### 地震等災害における学費等減免について

在学生・生徒や受験生の保護者が地震などの大規模自然災害を受け学費等の納入が難しい場合、入学検定料・入学金・授業料を被災状況にあわせた基準により減免し、経済的に支援することを目的として、2004年に設定したものであり、在学生・生徒や受験生の保護者が、災害救助法を適用された市町村に居住し、罹災証明などの証明書の提出があった人物に対し支援する。

#### 教育ローンについて

学校法人五島育英会は、三菱東京UFJ銀行ならびに、みずほ銀行と提携し、「学校法人五島育英会教育ローン」を実施している。資金用途は、学納金の支払いであり、融資限度額は、原則300万円、融資期間は、原則10年以内。利率はその時々金融情勢などによって変更する。

#### ご支援のお願い

学校法人五島育英会では、各学校の教育改革および充実のためのご支援ご協力を随時承っております。ご父母保証人、卒業生、企業などの皆様におかれましては、引き続きご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ担当部署】 学校法人五島育英会 法人事務局経理部資金課

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F Tel: 03-3464-6919 (ダイヤルイン) Fax: 03-3464-6650



## 財務ハイライト

2008(平成20)年度の学校法人五島育英会決算に基づく財務諸表について、その代表的な数値と主な内容を説明します。

消費収支計算書(P/L)では、学生生徒等納付金と手数料が予算を上回り、経常収入は176億円(予算比1.9%増)になりました。経常支出も予算比2.6%減の184億円となり、経常収支差額は8億円の支出超過を計上しました。

キャッシュ・フロー計算書では、教育研究活動および施設等整備活動によるキャッシュ・フローが予算を上回る数字を計上できました。貸借対照表では借入金残高が前年比12.2%の圧縮となりましたが、経済情勢の急変により資産売却を見送ったことなどから、純資産比率は80.5%(前年比0.9ポイント減)、総負債比率は19.5%(前年比0.9ポイント増)になりました。

### 消費収支計算書 (P/L)

経常収入 **176 億円** 予算比 1.9%増 (前年比 1.5%減)

特別収入 **4 億円** 予算比 82.7%減 (前年比 11.1%減)

経常支出 **184 億円** 予算比 2.6%減 (前年比 5.9%増)

経常収支差額 **△ 8 億円** 予算比 49.6%減 (前年比——)

帰属収支差額 **△ 8 億円** 予算比—— (前年比——)

\*経常収入とは、学生生徒等納付金、手数料等の経常的な収入。特別収入とは、資産売却差額、資産運用収入等の非経常的な収入。  
\*経常支出とは、人件費、教育研究費、管理経費の経常的な支出。経常収支差額とは経常収入と経常支出との差額。

### キャッシュ・ フロー計算書

教育研究活動による  
キャッシュ・フロー (I) **13 億円** 予算比 186.0%増 (前年比 39.7%減)

施設等整備活動による  
キャッシュ・フロー (II) **△ 33 億円** 予算比 3.6%増 (前年比 267.2%減)

事業活動による  
キャッシュ・フロー (I+II) **△ 20 億円** 予算比 32.2%増 (前年比——)

### 貸借対照表

借入金残高 **54 億円** (前年比 12.2%減)

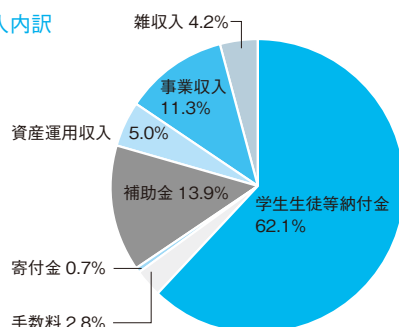
純資産比率 **80.5%** (前年比 0.9 ポイント減)

\*純資産比率は、純資産(基本金+消費収支差額)を資産総額で割った数字で、比率が高いほど財政的に安定していることを示します。

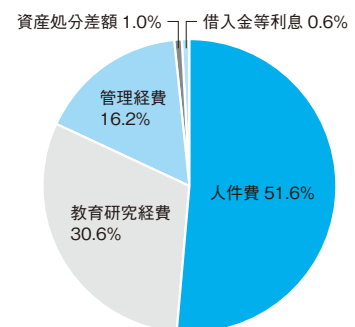
総負債比率 **19.5%** (前年比 0.9 ポイント増)

\*総負債比率は、負債額合計を総資産で割った数字で、総資産に対する他人資産の比重を評価する比率です。比率が低いほど良いとされています。

■ 2008年度帰属収入内訳



■ 2008年度消費支出内訳



## 資金運用について

学校法人五島育英会は「資金の運用に関する取扱規程」に基づき、元本の保証があり、利回りについても確定金利である預貯金や金融商品を原則として運用しています。

運用の対象は、元本保障が確実な金融機関の預金のほか、国債、地方債、政

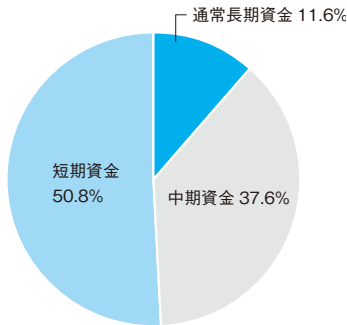
府関係機関債、金融債、普通社債、円建て外債、転換社債などの公社債を中心にしています。

これに対して外貨建て債券は「資金の運用に関する取扱規程」外であることから保有しておらず、為替変動による元本割れリスクの影響を受けることはありません。

このほか金利交換などのデリバティブ取引についても行っていません。元本割れなどのリスクの影響を受けてはなりません。

なお、安全性の高い金融商品については、確定利付外の商品も一部対象として運用しています。

■ 2009年3月末資金運用構成図



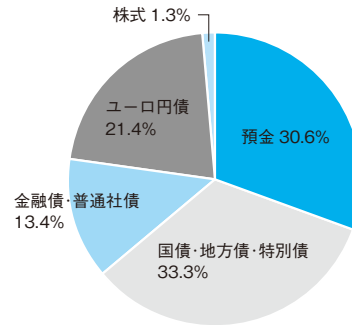
短期資金…1年以内の運転資金

中期資金…1年超10年未満の運転資金

通常長期資金…10年以上20年未満の運転資金

超長期資金…20年以上の運転資金

■ 2009年3月末資金運用構成図



\*各計算書などは、百万円単位で表示する際に、百万円未満を切り捨てしているため、合計などにおいて一致しない場合があります。

## 施設・設備の拡充について

### 1

#### 東京都市大学 新2号館新築工事

東京都市大学世田谷キャンパスでは、2007(平成19)年度に新設した工学部生体医工学科の実習室、実験室などの必要な施設を設置するために、旧2号館跡地に新2号館を建設しています。

建物概要：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

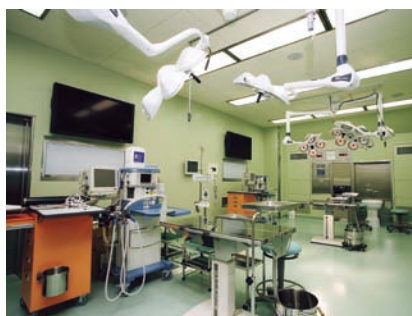
地下1階、地上4階建

延床面積：4,840㎡

総事業費：1,976百万円

工期：着工2008(平成20)年5月

竣工予定2009(平成21)年6月



### 2

#### 東京都市大学付属小学校 校舎新築工事

東京都市大学付属小学校の校舎新築工事は2007(平成19)年7月に着工し、2009(平成21)年3月に竣工しました。校舎は、教室、図書室、教職員室のほか、1階に屋内プールとアリーナ、屋上に菜園を設けています。

建物概要：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

地下1階、地上3階建

延床面積：5,978㎡

総事業費：1,860百万円

工期：着工2007(平成19)年7月

竣工2009(平成21)年3月



### 3

#### 東京都市大学新学部設置に伴う 施設・設備拡充計画

東京都市大学等々力キャンパスでは、都市生活学部、人間科学部の2009(平成21)年4月開設に伴い、老朽化した建物の内装改修工事、情報ネットワーク設備および什器備品のリニューアルを順次進めていきます。

主な計画：1、2、3号館内装改修

情報ネットワーク設備更新

什器備品等更新

総事業費：2,120百万円

工期：着工2007(平成19)年4月

竣工予定2010(平成22)年3月





## 財務の概要

学校法人五島育英会は、2009(平成21)年5月19日に開催した理事会で、2008(平成20)年度決算を別表のとおり決定しました。ここでは、消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表の財務三表について、各科目を予算と対比して説明します。

### 消費収支計算書

消費収支計算書は、会計年度に計上した収支の内容や均衡を知るための表です。企業会計の損益計算書に相当すると言えますが、企業が利益の確保を目的にしているのに対して、学校法人では安定的かつ永続的に経営を遂行するための財政基盤を形成することを経営の目標に置いています。

#### 消費収入の部

授業料や入学金で構成する学生生徒等

納付金は11,196百万円となりました。今年度の学生生徒数は9,767人(3月1日現在)と予算人員を149人下回りましたが、納付金収入は36百万円の増加となりました。

入学検定料などによる手数料は502百万円となりました。志願者数は18,085人(実数)となり、予算人員より1,348人増加しました。主に大学入試センター試験利用者の増加によるもので収入は4百万円の増加となりました。

国や地方公共団体(地方自治体)からの補助金は2,502百万円となり120百万円増加しました。国庫経常費補助金は40百万円減少しましたが、施設整備費補助等が44百万円増加しました。

資産運用収入は906百万円となりました。受取利息配当金が利回り減により4百万円減少、不動産賃貸料収入等が16百万円増加により12百万円増となりました。

資産売却差額は、経済情勢の急変により

土地の売却を来年度以降にしたことから、1,786百万円減少となりました。

事業収入は2,037百万円となり、予算に比べ110百万円減少となりました。自動車学校の収入は1,511百万円、受託事業収入は416百万円、事業部(収益事業)からの繰出金は120百万円となっています。

雑収入749百万円のうち退職金社財団からの交付金は685百万円、その他64百万円となり、合計215百万円の増加となりました。

以上により、帰属収入合計は18,015百万円を計上し、1,433百万円減少となりました。

一方、基本金組入額は1,893百万円となり、予算より2,565百万円減少しています。主に校舎等建設代金が1,092百万円未払いとなったこと、建物などを1,485百万円除却したことによります。以上の結果、消費収入の部合計は16,121百万円となり予算を1,131百万円上回る金額を計上しました。

#### ■ 消費収支計算書 2008(平成20)年4月1日から2009(平成21)年3月31日まで

(単位:百万円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	2008年度決算	2008年度予算	増減	科目	2008年度決算	2008年度予算	増減
学生生徒等納付金	11,196	11,160	36	人件費	9,699	9,644	54
手数料	502	498	4	教育研究経費	5,748	5,624	123
寄付金	118	44	74	管理経費	3,038	3,199	△161
補助金	2,502	2,382	120	借入金等利息	113	113	0
うち国庫補助金	1,291	1,286	4	資産処分差額	191	341	△149
うち地方公共団体補助金	1,192	1,080	111	徴収不能額	3	0	3
うちその他補助金	18	14	3	予備費	0	512	△512
資産運用収入	906	894	12				
資産売却差額	0	1786	△1,786				
事業収入	2,037	2,148	△110				
雑収入	749	534	215				
帰属収入合計	18,015	19,448	△1,433	消費支出の部合計	18,794	19,436	△641
基本金組入額合計	△1,893	△4,459	2,565	当年度帰属収支差額	△779	11	△791
消費収入の部合計	16,121	14,989	1,131	当年度消費収支差額	△2,673	△4,447	1,773

#### ■ 資金収支計算書 2008(平成20)年4月1日から2009(平成21)年3月31日まで

(単位:百万円)

収入の部				支出の部			
科目	2008年度決算	2008年度予算	増減	科目	2008年度決算	2008年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	11,196	11,160	36	人件費支出	9,779	9,619	160
手数料収入	502	498	4	教育研究経費支出	4,031	3,895	135
寄付金収入	62	43	18	管理経費支出	2,795	2,999	△203
補助金収入	2,502	2,382	120	借入金等利息支出	113	113	0
うち国庫補助金収入	1,291	1,286	4	借入金等返済支出	753	752	0
うち地方公共団体補助金収入	1,192	1,080	111	施設関係支出	3,651	4,713	△1,061
うちその他補助金収入	18	14	3	設備関係支出	894	1,100	△206
資産運用収入	906	894	12	資産運用支出	6,155	4,501	1,654
資産売却収入	5,590	5,615	△24	その他の支出	1,335	1,066	268
事業収入	2,037	2,148	△110	予備費	0	512	△512
雑収入	734	534	200	資金支出調整勘定	△1,565	△871	△693
前受金収入	3,013	2,698	314				
その他の収入	4,637	5,693	△1,055				
資金収入調整勘定	△3,553	△2,845	△708				
当年度収入合計	27,632	28,823	△1,191	当年度支出合計	27,945	28,404	△458
前年度繰越支払資金	7,036	6,882	153	次年度繰越支払資金	6,722	7,301	△579
収入の部合計	34,668	35,706	△1,037	支出の部合計	34,668	35,706	△1,037
				当年度収支差額	△313	419	△732

## ■ 在学学生・応募数関連

(単位:人)

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度予算
学生生徒数	10,272	10,287	10,248	10,245	10,090	9,871	10,235
大学	6,185	6,320	6,359	6,401	6,446	6,505	6,960
その他	4,087	3,967	3,889	3,844	3,644	3,366	3,275
応募者数	21,466	21,651	18,147	18,861	19,633	18,474	16,467
東京都市大学	17,819	17,253	14,099	12,734	13,061	12,536	14,373
その他	3,647	4,398	4,048	6,127	6,572	5,938	2,094
専任教職員在籍数	814	799	804	787	804	807	814
大学	404	396	404	387	396	392	457
その他	410	403	400	400	408	415	357
(内訳)							
教育職員	457	453	447	430	446	456	457
技術職員	54	55	58	58	52	49	56
収益部門職員	69	69	70	75	75	65	69
事務職員	234	222	229	224	231	237	232

\*各年度の5月1日現在。ただし、応募者数は延べ人数です。

## ■ 東京都市大学納付金〔入学金を除く〕

(単位:千円)

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度予算
工学部	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340
知識工学部	—	—	—	—	1,340	1,340	1,340
環境情報学部	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220
都市生活学部	—	—	—	—	—	—	1,100
人間科学部	—	—	—	—	—	—	1,100
大学院工学研究科	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190
大学院情報学研究科	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

\*私費外国人留学生の授業料は規定により30%減免となります。

## 消費支出の部

人件費は9,699百万円となりました。専任教職員数は19人減少、兼務教員は23人減少しましたが、退職者が増加したため予算より54百万円増加しました。退職給与引当金は1,022百万円と289百万円増加となりました。

教育研究経費は5,748百万円となりました。123百万円増加しましたが、主に修繕費、委託費などによる増加です。

管理経費は3,038百万円となり161百万円減少しています。広告費の一部を次年度に繰り延べたこと、経費削減を徹底して行なったことにより減少しました。

資産処分差額191百万円は、主に不動産処分差額となります。

以上により、消費支出の部合計は18,794百万円となり、消費収支差額は2,673百万円の支出超過となりました。

今年度は、基本金組入額の減少により消費収入で対予算1,131百万円増加し、1,773百万円支出超過が改善された結果となっています。しかし帰属収支は、先に説明した通り資産売却の延期などにより779百万円の支出超過と大変厳しい決算となりました。

## 資金収支計算書

## 収入の部

資金収支計算書は、会計年度内で遂行した事業活動に対応する資金移動を記録した表です。年度内に発生した資金の出入を明らかにして、健全に学校経営がなされているかを確認できます。ここでは消費収支決算書科目と同額・同内容の項目は省略します。

資産売却収入5,590百万円は、有価証券の償還収入になります。

前受金収入は3,013百万円を計上しました。学費等前受金収入が135百万円増加、自動車学校技能教習前受金が171百万円増加したことで314百万円増加となりました。

その他の収入4,637百万円は、主として特定資産を取り崩すことによって発生した収入2,842百万円ですが、予算に比べ1,814百万円取り崩しの減少となりました。

以上の収入から未収入金等3,553百万円を控除した当年度収入合計は27,632百万円となりました。これに前年度繰越支払資金7,036百万円を加えた「収入の部合計」は34,668百万円となりました。

## 支出の部

人件費支出は9,779百万円となり、退職者が増加したことにより160百万円の増加となりました。

教育研究経費および管理経費については、消費収支科目から減価償却額を除いたものと同内容となっております。借入金等返済支出は、753百万円となりました。

施設関係支出3,651百万円の内容は、都市大学関係では世田谷キャンパス土地買収、新学部関係、世田谷キャンパス2号館ほか、都市大塩尻高(旧武蔵二高)耐震補強、都市大等々力中高(旧東横中高)耐震補強、都市大付属小(旧東横小)校舎新築、東急自動車学校唐木田土木工事などを実施しましたが予算より1,061百万円減少しています。

設備関係支出894百万円は主に機器備品購入840百万円が占め、その内訳は、都市大で666百万円、都市大付属小130百万円等となりました。

以上の支出から、未払金等1,565百万円を控除した当年度資金支出合計は27,945百万円となり、収入との差額6,722百万円が次年度繰越支払資金となります。



## 貸借対照表

貸借対照表は、期末での学校法人の財務状態を明らかにするための表です。一方に資産、もう一方に負債、基本金、消費収支差額を記載して、両者を対照させています。

### 資産の部

2009(平成21)年3月31日での資産総額は91,152百万円となり、前年同日に比べて44百万円増加しました。

有形固定資産は、前年度より2,439百万円

増加して、58,057百万円となりました。

建物は、都市大付属小の校舎新築などにより前年同日に比べて2,382百万円増加し、減価償却による減少は1,245百万円となり、1,139百万円増加しました。建設仮勘定は、世田谷キャンパス2号館他により1,239百万円増、都市大付属小校舎竣工により189百万円減となりました。

その他の固定資産は、24,152百万円となり前年同日に比べて2,269百万円減少しました。主なものは、有価証券が建物建設資金として1,821百万円減少しています。

### 負債、基本金及び消費収支差額の部

負債計は17,799百万円となり前年同日に比べて823百万円の増加となりました。長短借入金残高は5,425百万円となり、753百万円減少しました。

基本金は、建物などの取得により前年同日に比べて1,893百万円増加して、82,382百万円となりました。

純資産は前年同日に比べて779百万円減少して73,352百万円となりました。純資産比率は、前年度より0.9ポイント減少して80.5%となりました。

## ■ 貸借対照表 2009(平成21)年3月31日現在

(単位:百万円)

資産の部				負債・基本金及び消費収支差額の部			
科目	本年度末残高	前年度末残高	増減	科目	本年度末残高	前年度末残高	増減
固定資産	82,209	82,039	170	固定負債	12,130	12,987	△ 857
有形固定資産	58,057	55,618	2,439	長期借入金	4,692	5,425	△ 732
土地	23,691	23,593	98	退職給付引当金	5,988	6,084	△ 95
建物	25,650	24,511	1,139	長期預り金等	1,448	1,477	△ 29
構築物	1,123	1,141	△ 17	流動負債	5,669	3,987	1,681
機器備品等	4,016	3,863	153	短期借入金	732	753	△ 20
図書	2,335	2,319	16	未払金	1,536	344	1,192
建設仮勘定	1,239	189	1,049	前受金	3,013	2,557	455
その他の固定資産	24,152	26,421	△ 2,269	預り金等	385	332	53
借地権	1,472	1,460	12	負債計	17,799	16,975	823
電話加入権	11	11	0	基本金	82,382	80,488	1,893
施設利用権	644	643	0	第1号基本金	77,440	75,036	2,403
有価証券	384	2,205	△ 1,821	第2号基本金	1,917	2,427	△ 510
各種特定資産	20,453	20,940	△ 486	第3号基本金	1,804	1,803	0
収益事業元入金等	1,185	1,159	25	第4号基本金	1,221	1,221	0
流動資産	8,942	9,067	△ 125	消費収支差額	△ 9,029	△ 6,356	△ 2,673
現金預金	6,722	7,036	△ 313	当年度消費収支差額	△ 2,673	674	△ 3,348
未収入金	996	779	216	前年度繰越消費収支差額	△ 6,356	△ 7,031	674
有価証券	1,202	1,198	3				
その他の流動資産	21	53	△ 31	(純資産)	(73,352)	(74,132)	(△ 779)
合計	91,152	91,107	44	合計	91,152	91,107	44

## 注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金 未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金 退職給与引当金の額の算定方法は、次のとおりである。

①大学等の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 4,378,579,300円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

②高等学校以下の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 2,326,664,400円の100%を基にして私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。

③専修学校の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 60,776,408円の100%を基にして計上している。

④専修学校の付属事業に係る職員については、期末要支給額 425,250,803円の100%を基にして計上している。

#### (2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

原価法による移動平均法

所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

### 2. 重要な会計方針の変更等 該当なし

### 3. 減価償却額の累計額の合計額 27,756,675,089円

### 4. 徴収不能引当金の合計額 0円

### 5. 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地 19,491,213,632円、建物 5,058,320,001円

### 6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 5,397,777,132円

### 7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事

#### (1) 有価証券の時価情報

(単位:円)

	当年度(2009年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 異
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	11,155,243,738	11,433,421,541	278,177,803
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	7,623,875,813	7,000,070,000	△ 623,805,813
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
合 計	18,779,119,551	18,433,491,541	△ 345,628,010
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
時価のない有価証券	250,000		
合 計	18,779,369,551		

#### (2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

(単位:円)

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	1,184,402,032	406,946,473
その他の機器備品	235,822,632	77,097,188
車 両	151,618,320	54,716,130
合 計	1,571,842,984	538,759,791

# 財産目録 2009(平成21)年3月31日

I 資産総額	91,152,087 千円	II 負債総額	17,799,191 千円
内 1 基本財産	61,063,539 千円	III 正味財産	73,352,895 千円
2 運用財産	26,188,762 千円		
3 附属事業用財産	1,190,927 千円	(注記) 資産の価額は、取得価額（減価償却資産については帳簿価額）基準による。	
4 収益事業用財産	2,708,857 千円		

## 1 資産

### 1 基本財産

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1) 土地	298,740.74㎡	23,606,299
(2) 建物	165,032.03㎡	25,002,994
(3) 図書	538,213 冊	2,335,419
(4) 教具・校具及び備品	49,678 点	3,952,563
(5) 構築物	—	1,031,422
(6) 車輛	10 台	12,983
(7) 建設仮勘定	1 口	961,970
(8) 借地権	16,262.86㎡	295,671
(9) 電話加入権	188 台	10,912
(10) 施設利用権	17 件	41,381
(11) 施設取得計画(2号)引当資産	4 口	1,917,400
(12) 第3号基本引当資産	3 口	1,804,192
(13) 奨学資金引当特定資産	2 口	90,328
計	—	61,063,539

### 2 運用財産

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1) 預金・現金	—	6,121,638
(2) 退職給与引当特定資産	8 口	2,738,500
(3) 施設拡充引当特定資産	10 口	13,773,500
(4) 有価証券	1 口	384,351
(5) 不動産	107,368.79㎡	85,355
(6) 収益事業元入金	1 口	1,000,000
(7) 貸付金	1 口	200
(8) 未収入金	98 口	875,936
(9) 貯蔵品	—	248
(10) 前払金	88 口	6,344
(11) 立替金	8 口	661
(12) 短期有価証券	1 口	1,202,025
計	—	26,188,762

### 3 附属事業用財産

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1) 事業用建物	1,845.16㎡	130,459
(2) 事業用構築物	—	91,822
(3) 事業用動産(機器・備品他)	289 点	46,244
(4) 建設仮勘定	1 口	277,349
(5) 借地権	27,366.00㎡	39,056
(6) 電話加入権	15 台	1,028
(7) 施設利用権	6 件	196,845
(8) 長期前払費用	1 件	108
(9) 設備利用権	13 件	7,791
(10) 預金・現金	—	272,609
(11) 未収入金	29 口	119,585
(12) 貯蔵品	—	1,836
(13) 前払金	13 口	6,189
計	—	1,190,927

### 4 収益事業用負債

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1) 事業用建物	4,239.85㎡	517,242
(2) 事業用構築物	—	624
(3) 事業用動産(機器・備品)	14 点	4,953
(4) 借地権	(163.86)㎡	1,138,236
(5) 施設利用権	5 件	406,225
(6) 施設拡充引当特定資産	1 口	129,400
(7) 積立保険金	1 口	30,990
(8) 修繕積立金	3 口	144,354
(9) 長期前払費用	1 口	1,043
(10) 設備利用権	4 口	676
(11) 預金・現金	—	328,492
(12) 未収入金	1 口	731
(13) 前払金	1 口	61
(14) 立替金	2 口	5,825
計	—	2,708,857

\*借地権の面積は法人事務局敷地に含む

## 2 負債

### 1 固定負債

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1)長期借入金	17 口	4,692,580
(2)退職給与引当金	567 人	5,562,190
計	—	10,254,770

### 2 流動負債

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1)短期借入金	15 口	732,840
(2)前受金	18 口	2,648,888
(3)未払金	19 口	1,358,305
(4)預り金	27 口	378,746
計	—	5,118,780

### 3 附属事業用負債

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1)退職給与引当金	95 人	425,250
(2)未払金	1 口	163,498
(3)前受金	1 口	323,917
(4)預り金	1 口	6,899
計	—	919,566

### 4 収益事業用負債

(単位:千円)

区分	数量	価額・金額
(1)退職給与引当金	1 人	1,464
(2)長期預り金	2 口	448,617
(3)収益事業元入金	1 口	1,000,000
(4)前受金	4 口	40,889
(5)未払金	1 口	14,763
(6)預り金	1 口	338
計	—	1,506,074

## 3 借用財産

区分	数量	備考
(1)土地	81,040.55㎡	武蔵工業大学工学部校地他

### 土地建物明細

#### (1) 土地

(単位:千円)

キャンパス	面積	価額
武蔵工業大学世田谷キャンパス敷地	35,518.52㎡	1,425,402
◇ 等々力キャンパス敷地	3,659.00㎡	111,532
◇ 王禅寺キャンパス敷地	84,233.00㎡	295,644
◇ 横浜キャンパス敷地	64,687.96㎡	19,156,929
◇ 付属中学校・高等学校敷地	24,387.00㎡	413,638
◇ 菅平山荘敷地	1,761.00㎡	1,500
◇ 第二高等学校敷地	39,025.00㎡	34,628
東横学園女子短期大学敷地	16,137.00㎡	381,242
◇ 学生会館敷地	1,985.52㎡	7,207
◇ 中学校・高等学校敷地	7,950.00㎡	89,550
◇ 小学校敷地	6,297.00㎡	38,799
◇ 二子幼稚園敷地	1,881.00㎡	1,017,000
東急自動車整備専門学校敷地	3,649.00㎡	56
法人事務局敷地他	7,569.74㎡	633,168
合計	298,740.74㎡	23,606,299

#### (2) 建物

(単位:千円)

キャンパス	面積	価額
武蔵工業大学世田谷キャンパス建物	61,380.36㎡	8,537,967
◇ 等々力キャンパス建物	4,212.89㎡	816,385
◇ 王禅寺キャンパス建物	2,715.77㎡	137,946
◇ 横浜キャンパス建物	21,403.71㎡	4,817,406
◇ 付属中学校・高等学校建物	16,618.54㎡	3,838,838
◇ 菅平山荘建物	1,019.37㎡	2,317
◇ 第二高等学校建物	11,668.27㎡	742,041
東横学園女子短期大学建物	14,365.30㎡	1,727,592
◇ 学生会館建物	2,985.94㎡	498,274
◇ 中学校・高等学校建物	10,844.64㎡	435,636
◇ 小学校建物	5,978.51㎡	1,599,569
◇ 二子幼稚園建物	1,168.35㎡	230,823
東急自動車整備専門学校建物	2,504.98㎡	105,949
法人事務局建物他	8,156.40㎡	1,512,246
合計	165,023.03㎡	25,002,994

#### (3) 借用財産

キャンパス	面積
武蔵工業大学世田谷キャンパス敷地	32,592.00㎡
東横学園中学校・高等学校敷地	3,141.00㎡
◇ 小学校敷地	1,291.00㎡

キャンパス	面積
東横学園二子幼稚園敷地	363.69㎡
法人事務局敷地	163.86㎡
ハヶ岳山荘敷地	16,123.00㎡

キャンパス	面積
東急自動車学校敷地	27,366.00㎡
合計	81,040.55㎡



## 6年間の財政状態の推移 (各3月31日に終了した事業年度)

### ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度予算
学生生徒等納付金収入	11,174	11,324	11,290	11,318	11,323	11,196	11,615
手数料収入	569	490	449	456	425	502	475
補助金収入	2,677	2,604	2,608	2,502	2,592	2,376	2,652
事業収入	2,275	2,188	2,264	2,148	2,184	2,037	1,398
退職金団体交付金収入	887	558	538	525	418	685	493
その他	980	1,665	123	552	719	1,082	3,076
小計 (A)	18,562	18,829	17,272	17,501	17,661	17,881	19,708
人件費支出	9,404	9,306	9,334	8,978	8,684	8,676	8,767
退職金支出	1,697	1,057	936	999	825	1,103	894
教育研究経費支出	3,311	3,554	3,764	4,712	3,711	4,031	4,015
管理経費支出	2,011	2,025	2,052	2,252	2,084	2,795	2,988
その他	63	235	403	74	221	△ 13	382
小計 (B)	16,486	16,177	16,489	17,015	15,525	16,592	17,047
I 教育研究活動によるキャッシュ・フロー (A - B)	2,076	2,652	783	486	2,136	1,288	2,661
特別寄付金収入	140	220	549	142	98	62	70
国庫補助金収入	681	56	219	75	81	126	139
不動産等売却収入	31	1,563	254	2	0	0	3,253
小計 (C)	852	1,839	1,022	219	179	188	3,462
施設関係支出	2,830	1,536	3,428	3,277	703	3,651	5,862
設備関係支出	1,032	900	723	772	411	894	959
その他	△ 98	△ 544	767	20	△ 31	△ 1,043	848
小計 (D)	3,764	1,892	4,918	4,069	1,083	3,503	7,669
II 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー (C - D)	△ 2,912	△ 53	△ 3,896	△ 3,850	△ 904	△ 3,314	△ 4,207
III 事業活動によるキャッシュ・フロー (I + II)	△ 836	2,599	△ 3,113	△ 3,364	1,232	△ 2,026	△ 1,546
資産運用収入	441	449	387	332	315	305	208
借入金等収入	800	801	1,801	1,400	0	0	0
その他	68	110	56	394	212	20	51
小計 (E)	1,309	1,360	2,244	2,126	527	326	259
借入金等利息支出	92	91	96	123	128	113	99
借入金等返済支出	727	533	664	759	754	753	733
その他	54	56	52	381	182	0	0
小計 (F)	873	680	812	1,263	1,064	866	832
IV 財務活動によるキャッシュ・フロー (E - F)	436	680	1,432	863	△ 537	△ 540	△ 573
V キャッシュ・フロー小計 (III + IV)	△ 400	3,279	△ 1,681	△ 2,501	695	△ 2,566	△ 2,119

### ■ 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
資産の部						
固定資産	81,070	84,489	84,561	83,104	82,039	82,209
有形固定資産	53,604	53,986	55,995	56,745	55,618	58,057
うち土地	23,482	23,400	23,584	23,593	23,593	23,691
うち建物	21,097	22,534	21,933	25,214	24,511	25,650
その他の固定資産	27,465	30,503	28,566	26,359	26,421	24,152
うち引当特定資産	22,468	25,556	23,617	21,301	21,248	18,943
流動資産	8,781	8,109	8,612	8,311	9,067	8,942
現金預金	7,166	6,811	7,285	7,034	7,036	6,722
有価証券	0	600	501	501	1,199	1,202
その他	1,615	698	826	776	332	1,017
合計	89,851	92,599	93,174	91,416	91,107	91,152
負債・基本金及び消費収支差額の部						
負債の部	17,879	18,490	17,944	17,991	16,975	17,799
固定負債	12,601	12,787	13,607	13,828	12,987	12,130
流動負債	5,277	5,702	4,336	4,163	3,987	5,669
(借入金残高)	(4,884)	(5,152)	(6,289)	(6,931)	(6,178)	(5,425)
基本金の部	76,971	78,384	80,337	80,455	80,488	82,382
消費収支差額の部	△ 4,998	△ 4,275	△ 5,106	△ 7,031	△ 6,356	△ 9,029
(純資産)	(71,972)	(74,108)	(75,230)	(73,424)	(74,132)	(73,352)
合計	89,851	92,599	93,174	91,416	91,107	91,152

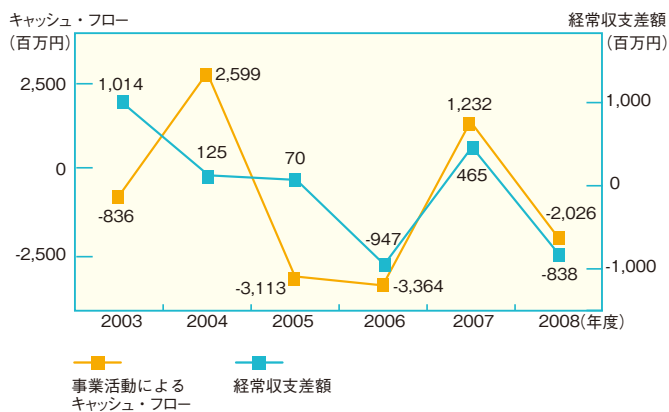
正味引当特定資産残高 (引当特定資産残高 - 借入金残高)	17,584	20,404	17,328	14,370	15,070	13,518
----------------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

■ 損益計算書

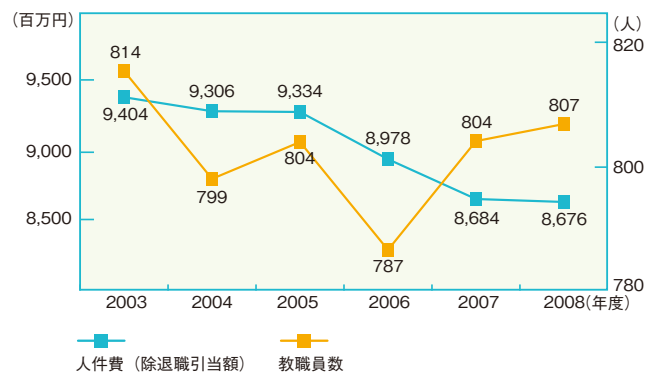
(単位:百万円)

科目	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度予算
経常収支の部							
学生生徒等納付金	11,175	11,324	11,290	11,318	11,323	11,196	11,615
手数料	569	490	449	456	426	502	475
寄付金	67	114	60	0	60	56	0
補助金	3,357	2,660	2,827	2,578	2,673	2,502	2,791
資産運用収入	546	542	561	572	583	601	580
事業収入	2,275	2,188	2,264	2,148	2,183	2,037	1,398
雑収入	137	127	61	212	248	64	2,762
退職団体交付金収入	887	558	537	525	418	685	493
経常収入 (A)	19,013	18,003	18,049	17,809	17,914	17,647	20,113
人件費	9,404	9,306	9,334	8,978	8,684	8,676	8,767
退職給与引当金	1,314	1,017	765	808	812	1,022	723
教育研究経費	5,008	5,295	5,595	6,513	5,634	5,748	5,808
管理経費	2,273	2,260	2,285	2,457	2,319	3,038	3,193
予備費	0	0	0	0	0	0	281
経常支出 (B)	17,999	17,878	17,979	18,756	17,449	18,485	18,772
I 経常収支差額 (A - B)	1,014	125	70	△ 947	465	△ 838	1,341
特別収支の部							
寄付金	140	220	549	191	98	62	71
資産売却差額	45	1,547	336	2	0	0	3,239
資産運用収入	441	449	387	332	315	305	208
特別収入 (C)	626	2,216	1,272	525	413	367	3,518
借入金利息	92	91	96	124	128	113	99
資産処分差額他	511	114	126	1,259	43	195	176
特別支出 (D)	603	205	222	1,383	171	309	275
II 特別収支差額 (C - D)	23	2,011	1,050	△ 858	242	58	3,243
帰属収支差額 (I + II)	1,037	2,136	1,120	△ 1,805	707	△ 779	4,584

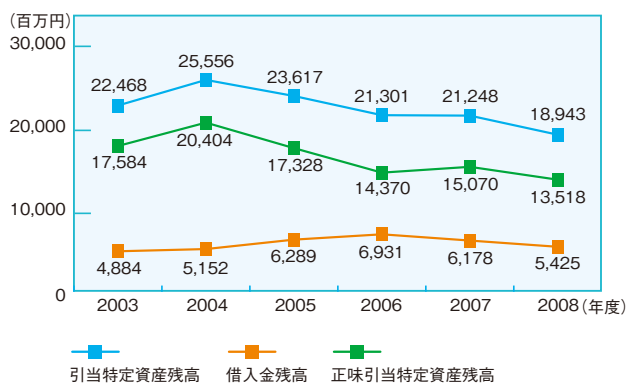
■ 事業活動によるキャッシュ・フロー、経常収支差額の推移



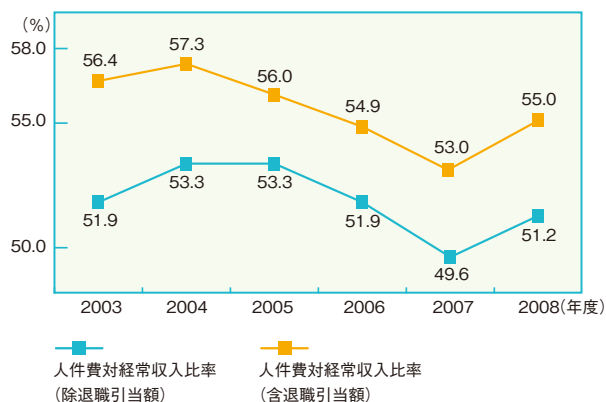
■ 人件費、教職員数



■ 引当特定資産残高、借入金残高、正味引当特定資産残高



■ 人件費対経常収入比率





## 2009年度の事業計画

学校法人五島育英会は、伝統を基盤とする独自性と進取の精神をもって新たな教育環境の整備、教育内容の充実に取り組んでいます。社会的信頼を高め、永続性を確保すべく、2009年度の事業計画を策定しました。

### 1. 広報

2008年度は、「東京都市大学グループ」誕生の周知徹底、新学部開設に伴う学生募集広報を強力に推進し、大学志願者数前年比25.5%増という結果を残しました。

2009年度は「都市大グループ」ブランドのさらなる浸透を目指し、各学校の多彩な教育・研究活動や未来の姿などを発信し、都市大グループへの共感を深める広報活動を推進します。

五島育英会広報委員会を中核として各学校とさらに緊密に連携し、ブランド戦略、募集活動などに重点的に取り組みます。また法人全体の活動を効果的に実施するために、情報を共有化し、内部に対する広報活動も積極的に進めていきます。



2008年度は、広報活動の一環として、「都市大グループ」誕生のラッピングをした東急バス100台が東京・神奈川沿線を走行しました。2009年度も継続して展開しています

### 2. 人事

高大連携をはじめとするグループ連携の強化、時代と社会の要請に適應できる人材の育成を目指し、より効率的な人員配置を実施します。初等中等教育学校においては、新たな管理職員として「主幹教諭」を配置し、学校を機能的に運営します。なお、職員数は、新学部開設に伴い、微増となりました。

2007年度に事務職を対象に新人事制度（目標管理評価制度）を導入。2009年度は、管理職、一般職ともに事務職員の目標管理評価制度の普及・定着を推進し、個々の職員の意識改革、資質向上の喚起を促し、外部競争力の強化を目指します。

東京都市大学のスタートに際し、2008年度から等々力キャンパスでは学生支援サービス向上を目的とした「CS（顧客満足）活動」に取り組み、新たなモデルキャンパス作りを推進しています。2009年度には世田谷キャンパスにCSを推進する部門を新たに設置。全体的な取り組みとしてのCS活動を展開し、より質の高い学生サポート体制を整備していきます。

2009年度予算については、P30のキャッシュ・フロー計算書およびP31の損益計算書をご参照ください。

### 3. 財務

2008年度に策定した5カ年の長期財政計画では、校舎等建設に総額13,119百万円、機器備品等整備充実に総額3,941百万円を計画しています。

2009年度は、東京都市大学世田谷キャンパス新2号館新築工事、東京都市大学等々力中学校・高等学校、東京都市大学塩尻高等学校校舎等耐震工事、東急自動車学校新築工事などを計画しており5,152百万円を予算計上しました。

上記の支出を賄うためには、教育研究活動等収入では不足するため、保有資産の売却等収入を予定しています。

教育環境の整備充実に、多額の資金需要が見込まれることから、長期的に安定的な収入の確保に努めるとともに、施設等特定資産からの取崩しや保有資産の見直しなども視野に入れていきます。

## 施設・設備整備事業の概要

### 東京都市大学

#### 世田谷キャンパス 新2号館新築工事

新2号館は、2007年度に新設した工学部生体医工学科の研究棟となります。地下1階は機器分析室や化学処理室などを設け、1・2階に教室、3階に実験室、4階は研究室などを配置します。

建物構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

階数：地下1階、地上4階

延床面積：4,840㎡

総事業費：1,976百万円

工期：2008年5月1日～2009年6月30日



東京都市大学 新2号館完成イメージ

### 東急自動車学校(東急ドライビングスクール)新築工事

2009年12月の開校を目指し、東京都多摩市唐木田において新築工事を起工しました。新校舎は「習う場」として機能的で学習のしやすい快適性と、プライベートな時間の心地よさを提供します。

建物構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

階数：地下1階、地上3階

延床面積：4,841.92㎡

総事業費：2,900百万円

工期：2009年4月8日～2009年11月30日



東急ドライビングスクール完成イメージ

### 東京都市大学等々力中学校・高等学校新築工事

2010年度より、70年に及ぶ女子教育の伝統は「女子部」として受け継ぎながら、全く新しいコンセプトの「共学部」を新設いたします。学習プログラムに対応する施設環境の充実を図るために、新校舎の建設と既設校舎の耐震補強などの改修を行います。

建物構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

階数：地下1階、地上5階

延床面積：14,330㎡

総事業費：3,000百万円

工期：2009年9月～2011年7月



東京都市大学等々力中学校・高等学校  
新校舎完成イメージ

# 五島育英会の概要

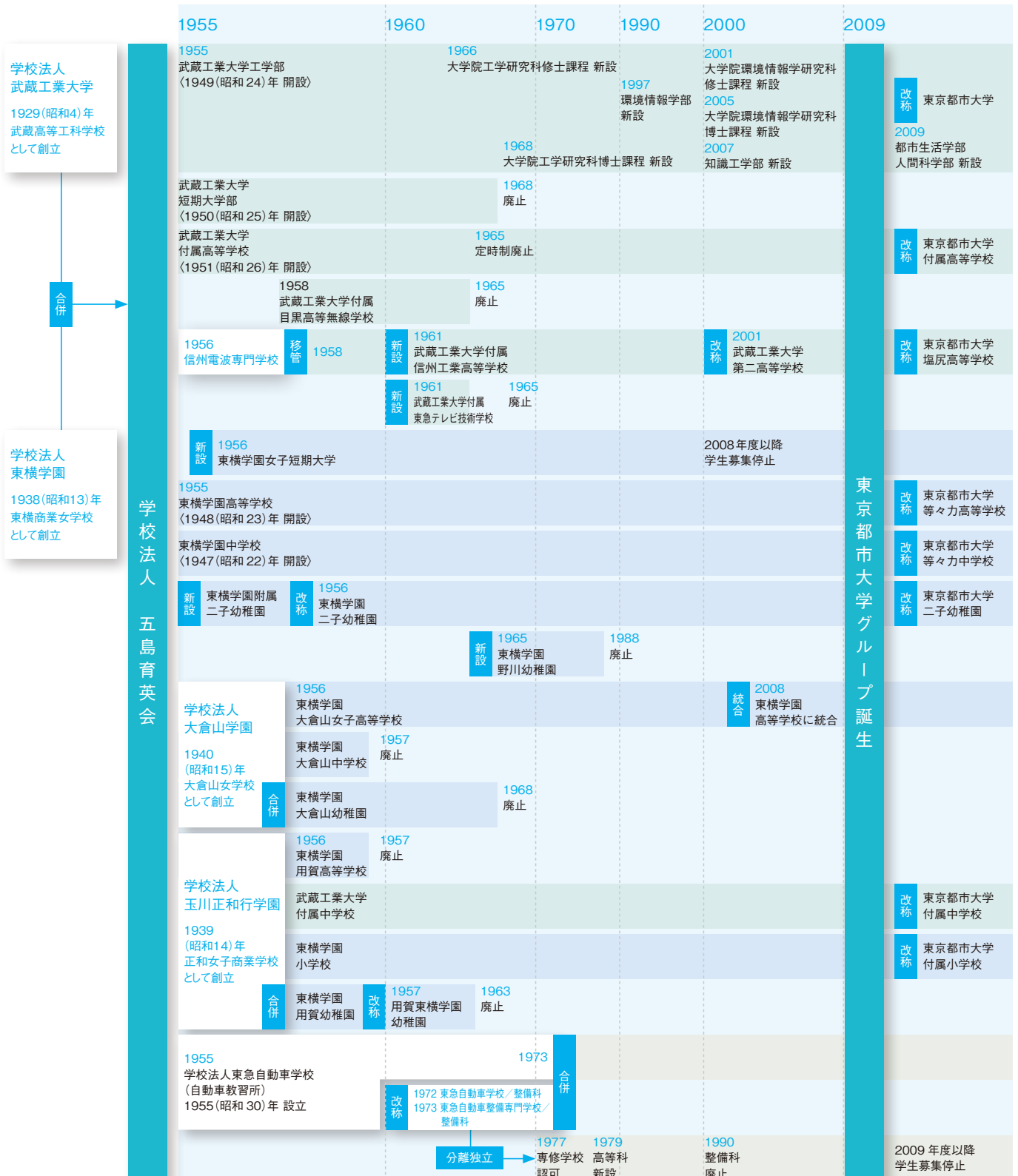
## 五島育英会のあゆみ

五島育英会は、1955(昭和30)年に設立した学校法人です。当時の設置校は武蔵工業大学、同短期大学部、同付属高等学校、東横学園高等学校、同中学校の5校でした。

その後、幾多の変遷を経て、2009年4月、東京都市大学グループ(大

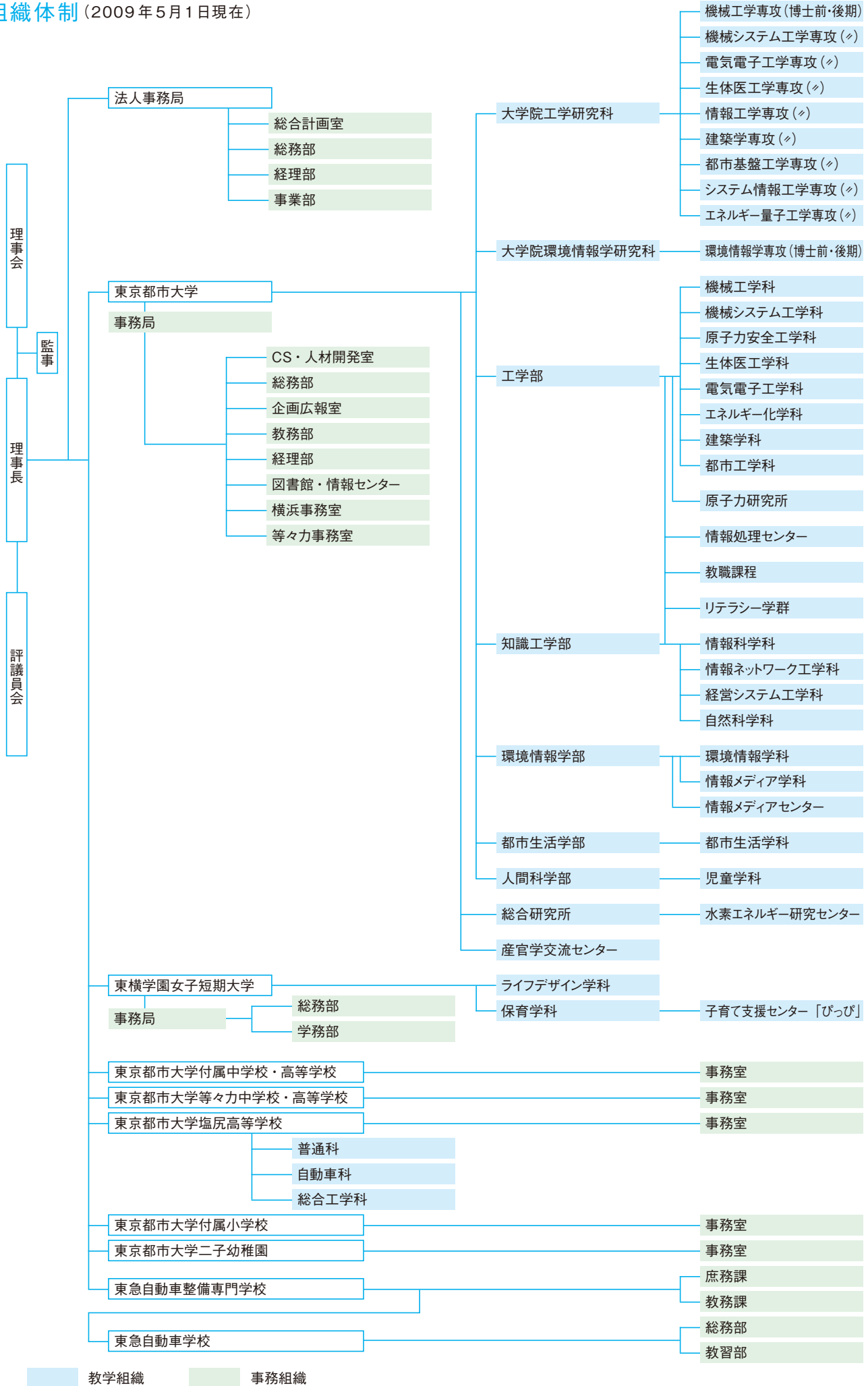
学1、高等学校3、中学校2、小学校1、幼稚園1)を形成し、「東京都市大学」の共通名称を冠とする学校群として生まれ変わりました。

在籍者数は1万名、これまでの卒業生総数は15万人超、自動車学校を含めると約47万人に達しています。





組織体制 (2009年5月1日現在)



教学組織

事務組織

## 役員一覧

(2009年5月27日現在) 理事、監事および評議員の任期は、2009年5月27日から2012年5月26日までです

### ■ 理事(15名)

山口 裕啓 理事長  
三留 克弘 専務理事  
國分 榮 常務理事  
広江 秀夫 常務理事  
中村 英夫 東京都市大学学長  
上條 清文 東京急行電鉄株式会社取締役会長  
越村 敏昭 東京急行電鉄株式会社取締役社長  
清水 仁 学校法人亜細亜学園理事長  
東京急行電鉄株式会社取締役相談役  
海老原 大樹 東横学園女子短期大学学長  
東京都市大学等々力中学校・  
高等学校校長  
神宮 進一 東京都市大学事務局長  
鮫島 道親 法人事務局経理部長  
安達 功 東京急行電鉄株式会社専務取締役  
植木 正威 東急不動産株式会社取締役会長  
関 博 武蔵工業会理事長  
小林 菊恵 美砂会会長

### ■ 監事(3名)

岩田 哲夫 東京急行電鉄株式会社常勤監査役  
垣本 謙一郎 東京急行電鉄株式会社常勤監査役  
指田 誠一 武蔵工業会監事

### ■ 評議員(31名)

中村 英夫 東京都市大学学長  
海老原 大樹 東横学園女子短期大学学長  
東京都市大学等々力中学校・  
高等学校校長  
五十嵐 勲 東京都市大学付属中学校・  
高等学校校長  
河西 靖男 東京都市大学塩尻高等学校校長  
沖田 侃 東京都市大学付属小学校校長  
波田野 久美子 東京都市大学二子幼稚園園長  
片田 敏行 東京都市大学工学部長  
宮内 新 東京都市大学知識工学部長  
中原 秀樹 東京都市大学環境情報学部教授  
平本 一雄 東京都市大学都市生活学部長  
神宮 進一 東京都市大学事務局長  
本郷 重一 東横学園女子短期大学事務局長

橋本 昌彦 法人事務局総務部長  
鮫島 道親 法人事務局経理部長  
小杉 雅克 東京都市大学事務局等々力事務室長  
関 博 武蔵工業会理事長  
松下 正勝 武蔵工業会副理事長  
吉田 勝 武蔵工業会常務理事  
小林 菊恵 美砂会会長  
川辺 加代子 美砂会副会長  
山口 裕啓 理事長  
三留 克弘 専務理事  
上條 清文 東京急行電鉄株式会社取締役会長  
越村 敏昭 東京急行電鉄株式会社取締役社長  
清水 仁 学校法人亜細亜学園理事長  
東京急行電鉄株式会社取締役相談役  
安達 功 東京急行電鉄株式会社専務取締役  
植木 正威 東急不動産株式会社取締役会長  
國分 榮 常務理事  
広江 秀夫 常務理事  
曾禰 韶夫 学校法人亜細亜学園専務理事  
服部 光伸

### 東急グループについて

日本有数の企業グループ、東急グループは、交通、不動産、流通、レジャー・サービス、ホテル、建設など、生活者と直接接点を持つ様々な事業を展開しています。

東急グループのグループスローガン「美しい時代へー東急グループ」には、グループの存在理念「美しい生活環境を創造し、調和ある社会と、一人ひとりの幸せを追求する」という願いが込められています。

東急グループには、5つの財団と2つの学校法人があり、「環境(とうきゅう環境浄化財団)」「文化(五島記念文化財団/五島美術館/大東急記念文庫)」「国際交流(とうきゅう外来留学生奨学財団)」「教育(五島育英会/亜細亜学園)」など、地域社会等との関わりが深い分野で、様々な活動を行っています。本法人は教育事業を通じ、東急グループの社会貢献事業の一翼を担っています。

## 五島育英会の施設・設備

### 五島育英会ビル

五島育英会ビルは、JR 渋谷駅南口から徒歩5分という利便性を備えており、都心型のオフィスビルとして活用しています。

2010年設立予定の早稲田大学との共同大学院のキャンパスとしても使用される予定です。

#### 【建物概要】

建物名称：五島育英会ビル/敷地面積：1,001.79㎡  
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・地下3階地上8階搭屋1階  
建物面積：899.27㎡/建物延面積：8,777.88㎡  
竣工：1988年/建物用途：賃貸事務所



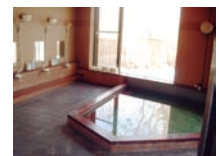
五島育英会ビル

### 五島育英会ハケ岳山荘

山梨県・ハケ岳の主峰赤岳の山麓に広がる清里高原に、自然の静寂につつまれた五島育英会ハケ岳山荘があります。体育館を併設しており、フィールドワークや各研修など多彩な目的に対応できる厚生施設です。

所在地：山梨県北杜市高根町清里 3545-1 TEL：0551-48-2019

料金区分 (1泊2食)	特別利用料金	
	10月～6月	7月～9月
教職員・在校生およびその家族	2,500円	3,500円
一般 (卒業生・関係者およびその家族)	4,500円	



浴室



ロビー&ラウンジ



体育館



五島育英会ハケ岳山荘



「都市」で学ぶ。  
「人」を育てる。  
「未来」を築く。



工学を中心に、日本の経済、産業、技術の発展のため、次代を見すえた教育・研究を実践してきた武蔵工業大学。1929年の創立から80年目となる2009年4月1日、その名を「東京都市大学(略称:都市大)」と改め、工学部、知識工学部、環境情報学部、都市生活学部、人間科学部の5学部を擁する総合大学として新たなスタートを切りました。同時に、付属校である高校から幼稚園についても「東京都市大学」を冠に名称変更し、「都市大グループ」を形成、各学校がこれまで培ってきた伝統と教育実績を生かしながら、グループ全体の連携をより一層強めてまいります。都市は、文化、芸術、産業の発信地であり、夢を現実に変える無限の可能性と多様性に満ちた空間。私たち都市大グループは、東京・世田谷、横浜という美しい街に学びのステージを持つ東京都市大学を中心に、幼児教育から高等教育にいたるすべての学齢で良質な教育を実践し、都市のたゆみない発展と、夢のある未来に貢献できる人々を育ててまいります。

2009年、都市大グループが誕生しました。

(旧 武蔵工業大学)



工学部／知識工学部／環境情報学部／都市生活学部／人間科学部  
大学院(工学研究科／環境情報学研究科)

東京都市大学 附属中学校・高等学校

(旧 武蔵工業大学附属中学校・高等学校)

東京都市大学 等々力中学校・高等学校

(旧 東横学園中学校・高等学校)

東京都市大学 塩尻高等学校

(旧 武蔵工業大学第二高等学校)

東京都市大学 附属小学校

(旧 東横学園小学校)

東京都市大学 二子幼稚園

(旧 東横学園二子幼稚園)

詳しくは特設ウェブサイトへ! ▶ <http://toshidai-group.jp>

発行：学校法人 五島育英会

2009年7月発行

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F  
TEL: 03-3464-6911(代表) FAX: 03-3464-6650 URL <http://www.goto-ikuei.ac.jp/>

詳しくはホームページへ

都市大グループ

検索

本誌に関するお問い合わせは、事業報告書編集委員会(TEL:03-3464-6918)までお願いいたします。